京城日報

十七日夕刊

定價 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 [illegible]

◎鄭家屯事件と當局

其後鄭家屯事件に關する續報其筋に到着せず鄭家屯在留邦人の安否猶ほ不明なるも多分無事なるべしとの見込なり當局に於ける應援兵急派其他の配備完く臨機の處置を了せり本件が國際の重大問題として北京に移され彼我交渉開始の暁政府に於ては飽くまで將來の保障を確立すべき方針なりと（東京電報）

◎對支各團體の主張

鄭家屯事件に關し一齊に蹶起せる對支各團體は將來斯る事件の發生を根絶する爲め此機會を以て政府を鞭撻し我勢力圏たる滿蒙より支那兵の排除を期する事に決定せり（東京電報）

◎外務陸軍打合頻繁

鄭家屯事件に關し外務陸軍兩當局者は頻繁に往復打合中なり（東京電報）

◎蒙匪進軍と官兵增派

宗社黨等の連絡＝對陣の儘休戰狀態＝支那官憲の狼狽

舊鄭家店を占領せる蒙古軍は巴布札布の率ゆる三千の兵にして宗社黨扶國軍の一部は今や蒙古軍と確實に聯絡を取り更に進軍せんとす之に對し支那兵は騎兵三百名歩兵百名にて逆襲を爲し戰鬪三時間に亙れるも勝負なし目下對陣の儘休戰狀態に在り流彈は我が附屬地内に破裂し危險なるも我が守備隊の警戒嚴なるを以て何等憂慮を要せず二十七及び二十八兩師の兵は猶續々增派されつゝあり吉林省西部昌黎縣下新安鎭にも蒙古軍の別働隊現はれ吉林督軍孟恩遠氏は兵五百を急派せり支那官憲は狼狽一方ならず（大連特電）

◎米艦重慶に急行す

米國軍艦パロス號は四川省に於ける形勢益々不穩に付同地方在留外國人保護の爲重慶に向け急行せり（上海電報）

◎英國の米國募債條件

紐育ヂエー、ピー、モルガン會社が財團支拂人として發表せる處に依れば今回英國に貸付べき二億五千萬弗の公債は償還期限二箇年利率五分にして九月一日發行の金貨證券の形式を取るべしと（紐育電報）

◎英伊商業協約調印

英國商相訪伊の結果

英國商務院總裁ランシマン氏の伊太利訪問の結果英伊商業協約調印せられたり伊太利人は皆熱心を以てランシマン氏を迎しトリノ市民の如きはランシマン氏の爲め歡迎會を開かんとし準備中なり（倫敦電報）

◎英帝の佛國戰場視察

英軍司令部附ロイテル社通信員の報ずる處に依れば英國皇帝は佛蘭西に一週間を過させられ戰場を視察せられたり皇帝は塹壕を視察せられたるが今回の行幸は將卒間に甚大の熱性を歡起したり（倫敦電報）

◎獨宰相墺外相協議中

獨逸宰相ベートマン、ホルウエッヒ氏は墺國外相ブリアン氏と何事か協議中なり（倫敦電報）

◎墺國外相辭表提出

墺國外相ブリアン氏は辭表を提出せり（倫敦電報）

◎親獨者外相新任の兆

ミラン來電に依れば墺國政治家中親獨主義者アンドラシーは近く墺國外務大臣に任せらる可き兆候あり是れ獨帝の意思に依るものなりと信ぜらる（倫敦電報）

◎露軍のカルパシアン進出

露都來電に依れば、露軍はカルパシアンのヤブロニツアを占領せり（倫敦電報）

◎伊軍敵の塹壕を占領す

伊太利公報に曰く、我軍はサングランド、ベンシンカサン及びカルソノ西方並にゴリチイアの東方にて敵軍塹壕を占領し捕虜千六百名を獲たり（倫敦電報）

◎鄭家屯問題

本田代議士の滿洲行

公友會所屬代議士本田親清氏は十七日朝聯絡船にて釜山着同十時三十分發列車にて奉天に向け出發せり其談に曰く余は約一箇月の豫定にて奉天より北京に到り再び朝鮮を經て歸東の豫定なるが今回鄭家屯に於ける日支兵の衝突は國際上甚だ面白からざる事なるも衝突の原因は些々たる行違の爲めにして政府の命令に依りたるものに非ざれば之が爲め折角親密になりたる日支間に國際上の問題を惹起すは兩國民の不利益なれば我々としては出來得る限り圓滿に解決したし政府に於ても亦其の方針なるが如し目下奉天地方には柴參政官、上泉將軍を初め約二十名の人々行き居れるも鄭家屯問題は今後重大なる問題にはならざるべしと信ぜらる（釜山特電）

◎上院議員補缺

青森縣多額納税議員宇野清左衞門氏の補缺は十六日左の通り任命ありたり（東京特電）

貴族院令第一條五項に依り貴族院議員に任す　原田佐治郎

◎三本鐵道局理事

十六日夜釜山に到著したる三本鐵道局理事は十七日夜十一時出發途中湖南線を視察し十九日歸任の筈なり（釜山特電）

◎酒税令發布期

過日來連日に亙り參事官室に各參事官、藤川税務課長等參集の上審議中なりし朝鮮酒税令施行規則は既に大體に於て審議終了せしを以て愈々三四日中に發布の運びに到るべしと

◎地査委員會

高等土地調査委員會の第三部會は十七日午前十時より會議室に開會土地査定不服申告に關し審議正午散會せり

◎七月の京城商況

米穀は本月に入り內地相場強氣配を呈したれども鮮米の內地堆積高多量なると南鮮地方に於ける水害、定期受渡の買占大規模に行はれたると連日霖雨のため糶捲の減少したる等の理由により地方出廻となり手固く前月に比し七八十錢方の騰貴を示せり從て內地移出は精米の古米供用の目的を以て多少の仕出を見たるに過ぎず大豆は出廻薄なれども滿洲産は銀價並に夏期の需要に適せざる等のため內地市場は鮮産品獨占の觀を呈し出廻を見るに從て移出せられたり牛肉も亦出廻薄なれども取引好況を呈し來り重石は價格の低落及輸出制限等のため移出を減少し幾分商况沈靜の狀を呈せり次に輸移入品を見るに夏時最も閑散なる時期にて一般に賣行捗々しからず殊に本月は大雨降雨に閉され荷動一層の遲鈍を來し商况不振を呈したり移入品の首位を占むる綿布類は仕入期に近づきたるに內地市場は原綿高なると支那市場方面への輸出引續き旺盛なる等により賣價次第に騰貴し加ふるに朝鮮向同品の生産に手廻り兼ぬるため當地に於ては一般に手持薄となり相場強硬にて中旬以後は鮮人間屋筋に於て著しく其取引高を增加したる如き例年見ざるの現象なり綿絲も亦綿布に伴ひて騰貴したるも更紗類は天候雨勝のため頗る不況を呈せり今京城稅關出張所に於て取扱ひたる本月中當地貿易額を見るに之を前月に比すれば輸移出に於て三萬八千餘圓輸移入に於て十一萬餘圓の減少を示せり更に之を前年同期に對比する時は輸移出に於て十三萬一千餘圓輸移入に於て二十五萬餘圓の增加を示せり

◎慶北稻作豫想

昨年に比し三十四萬石の增收

慶北道に於ける最近稻作狀況に就て本谷慶北勸業技手の談によれば慶北全體を通じて耕作面積十四萬町歩のうち全く灌漑の便を有するは八萬町歩にして他の六萬町歩は天水又は其他の方法に依らざれば灌漑し能はざる地にして就中六萬町歩中四萬町は全く天水に俟たざれば耕作し得ざる地なるに本年は雨量多き爲め低温の地には多少の被害ありしも是が反對に灌水を要する地に至るまで植付け行届き植付耕作面積に於ては例年に見ざる程充實したる現狀にあり然るに目下の氣温低きが爲め收穫を憂慮するものありと雖も元來天水耕作地の大部分は傾斜地なれば雨水の滲透作用よく他に比し大に氣温を保留し得る特質を有すれば今後の天候だに普通に回復せば今年は百六十萬石の收穫は疑なかる可し是を平年作に比し約二十萬石而して昨年に比し三十四萬石の增收を見る可く豫想さると

◎仁川檢米成績

仁川米穀檢査部に於て本年一月以降八月十五日迄に檢査せし米穀數量は輸移出玄米十三萬六千五百九十九叺中白米一千百八十五叺にして廻著米玄米十九萬一千〇六十三叺中白米一萬四千三百七十八叺なり而して内譯は輸移出玄米特等一萬八千十三叺上格九千六百十一叺下格十萬六千十六叺不合格二千九百五十九叺中白米上格三十叺下格一千百三十叺不合格二十五叺にして廻著は玄米合格十九萬四百十一叺不合格六百五十二叺中白米合格一萬四千三百七十八叺なり

◎仁川在穀高

本月十五日仁川港現在の穀物在庫數は玄米十一萬三千五百九十二叺白米一千七百八十七叺大豆二百六十叺小豆二百五十叺小麥一千三百八十二叺籾八千百四十七俵胡麻七百二十八叺糯米八百十四叺外に八十四俵なり

◎關屋局長の謝意

有馬温泉に靜養中の關屋學務局長の病床を見舞ひ十七日朝歸任せし太田視學官の談によれば局長の容態は其後益々良好にて目下輕快に向ひつゝあり而して局長は各方面よりの深厚なる同情に對し京城日報を通じ感謝の意を表する旨の傳言ありたりと

◎鮮人郡書記講習終了

京畿道に於て開催中なりし鮮人郡書記講習會は十六日財務部の講習を終了せしが更に財務部の方も十七日を以て全部終了せり

◎夜間檢疫中止

仁川警察署にては從來內地諸港並に大連を發し朝鮮沿岸を經由して入港する船舶に限り夜間並に內港檢疫を許可しありたるが頃日來横濱、大阪、神戸、長崎及び大連等當港と尤も密接の關係を有する諸港に虎疫發生し益々蔓延の兆あるより病毒侵入豫防の爲め當分夜間並に內港檢疫を廢止する事に決定し十五日午後其々關係汽船會社に通牒を發したり

◎長崎虎疫と朝郵

長崎の虎疫猖獗に付朝郵長崎浦鹽航路就航船は當分長崎寄港を缺航とすべしとの說あれど會社當事者の談によれば目下忠淸丸は長崎入港中なるが今日に於ては長崎寄港缺航の議なし但し今後虎疫の爲め長崎より釜山へ入港の際長時日釜山に繫留さるゝ如き事にもならば航行日數の關係上臨機の處置を執るに至らんと

◎芝罘行電信遲延

芝罘大連間海底電信線障碍を受け不通となりしに付滿鮮より芝罘に向ふ電報は全部大連より芝罘に郵送するの外途なく從つて頗る遲延すべしと

清津

▲成北國語普及　成北道警務部管內に於ける警務機關の國語教育個所は六月末現在に於て教育個所憲兵に於て百十三にして其生徒數は前者一萬二千六百十二名後者七百七十八名を算せり▲成北の邦人數　咸北道居住內地人現在戸口は戸數三千四百十六戸人口一萬千四百十八人にして本春頃に比すれば著しき增加を示せるが之れ羅南會寧軍營工事及び城津方面漁業鑛業の勃興に伴ふ現象なりとす尙ほ各地別に見れば淸津最も多く八百四十八戸三千百九十九人次で羅南五百七十三戸二千三百九人會寧四百十六戸九百六十八人城津三百十八戸六百十三人鏡城二百五十七戸八百八人其の他各坪、昌雄基等なりとす▲漁港防波堤起工　淸津東海岸漁港工事は本春の波浪に於て既に築造せる部分を崩壞されしを以つて更に設計を變更し補助增加の申請を爲したるに何れも認可せられたるも起工の指令なかりし爲め今日迄中止の姿なりしが今回鐵野府尹が京城へ出張し打合の結果本月より引續き起工する事となれり尤も本年度は南防波堤のみを完成すべき豫定なり▲成北牛疫發生　久しく發生を見ざりし北道の牛疫は又も本月四日鏡城郡訓戒面に四頭發生せしを以て極力防疫に努め居るが病系統は對岸より侵入せしものなりと▲憲兵補充計畫　鏡城憲兵隊に於て九月一日より三箇月間補充教育を施す事となりたる補充憲兵の教育は所屬隊の關係上羅南分隊內に於て爲す事となりたるが人員は歩兵五名、騎兵二名、野砲兵十二名、工兵四名計二十一名也

平壤

▲平南水稻試作　平安南道種苗場に於ては今回水稻試作の計畫をなしたるが從來勸業模範場平壤支場に於て數年間試作の結果日之出種西鮮地方に適するを認められたりと雖も山間部地方の如き日之出種の成熟遲くして成績良好ならざる地方なしとせず依て之等の地方に適する良品種發見と同時に日之出種より優良品種を見出さん爲め朝鮮及び內地に於ける氣候の當地方と相類似せる地方より良好なる品種を蒐め比較栽培をなさんとするものにして今回の試作種別は日之出種、八頭、入場、赤三筋、萬歲、六石神力、チエンチョウモワベー等二十二種にして試作坪數は一種十坪合計二百二十坪なりと▲松蛄蝎驅除　平安南道平壤憲兵分隊管內に於ける松蛄蝎被害松樹林多く同分隊は各住民と協力して之れが驅除を六月十日より七月二十五日に渉り行ひたるが山林面積二六九二六反驅除延人員二三四一〇人驅除一六石六斗八升七合なりと

安東縣

▲栃內海軍中將　海軍省技術本部長栃內海軍中將は副官小林中佐を隨へ滿鐵沿線炭鑛及び鐵山視察の途次十五日夜新義州着同地鐵道ホテルに一泊の上十六日午前本溪湖へ向け出發▲戰蹟保存塔　滿洲戰蹟保存會にては九連城に戰蹟保存塔を建設すること〻なり工費豫算約八千圓にて工事は之を滿鐵會社に委囑し同社にて近く請負入札する筈▲野田海軍大監　野田海軍造兵大監一行三名は十六日午前安東驛通過北行▲白米相場昂騰　內地及び朝鮮相場の昂騰に連れ當地に於ける白米相場も昨今十六圓五十錢に押上げ先月下旬より約二圓方の高値なり▲東亞販路開拓　當地東亞煙草販賣所にては今回新に上流通化方面に販路を開拓す可く既に數日前戎克八隻にて商品を輸送せりと▲大分縣人舟遊　當地大分縣人會の重なる人々十餘名は十六日夜鴨綠江にて舟遊會を催せり

仁川

▲客月出入貨物噸量　八月中仁川港に出入せし貨物噸量は輸入貨物一萬七百七十七噸移入貨物一萬三千六噸鐵道連帶移入貨物三百九十六噸輸出貨物三千七百十二噸移出貨物六千百五十五噸到著內國貨物一千八百八十三噸發送同上一百六十四噸陸路運送貨物一千二百十噸海路運送外國貨物四十一噸積戾貨物百三十九噸保稅庫入貨物二十七噸計三萬八千六百十六噸なり▲仁川府協議會　仁川府廳にては來る十九日府廳樓上に於て協議會を開催し仁川居留地土地建物賣買の件、貧民施療事業の經營を仁川病院に委託の件、仁川府屠畜場使用料條例制定の件、大正五年度仁川府歲入追加豫算の件等を諮問すべし

清州

▲學校組合近況　清州學校組合にて過般來新築工事中なりし校舍は本月上旬既に落成したり尙事務所新築は今回敷地用民有地家屋買收の交渉中なる由▲火葬場問題　今春來本願寺派淨土宗派信徒間にて經營引受をなさんとて紛紜を重ねつゝありし火葬場問題は組合直營のことゝなりて一段落を告げ目下改築設計中にて仕樣設計出來次第着手完全に修築をなすべし▲面書記講習會　清州郡にては各面書記及び洞里事務擔當員全部を集め十五六の兩日に亘り一、面行政の大意二、面の機關三、洞里事務擔當員執務心得四、其他雜件に就き講習會を開催したり▲裁縫講習會　今般來清中の福岡縣女子技藝教育會幹事無働虎三郎氏は十五六の兩日清州公立小學校にて簡便なる裁縫の方法に就き講習會を開催したるが鋏を以て反物を裁斷せずして仕立上る方法等至極新らしき試み等あり四十名の講習員ありたり

木浦

▲商議選擧取消　客月十日執行したる當會議所評議員朝鮮人側二名の選擧は定款第十七條に定めたる五日間の期間を距てざりし爲め道般總督府より取消されたるを以て更に本月廿三日午前九時より右選擧を行ふべしと此結果役員選擧も自然再行すべし▲沿岸貿易額　七月中に於ける當港沿岸貿易額は移出八萬四千八百十圓移入八萬七千七百五十一圓合計十七萬二千五百六十一圓にして六月中に比すれば移出一萬二千三百六十二圓移入二萬四千九十三圓の何れも增額なり▲鐵道閑散　木浦驛昨今の狀況は乘降客貨物共甚しく減退し倉庫品物は大豆五十二俵精白米三十一俵玄米五百六十俵小麥二百十俵にして至て閑散を極め居れりと▲棉花買收指定　大正五年度棉花買收指定は去十月道內各工場に對し其々區域を定め道廳より指定ありたり▲山野專務上阪　木浦棉花會社專務山野瀧三氏は要務を帶で十五日正午發列車にて釜山經由上阪せり

公州

▲清潔法施行　公州警察署に於ては降雨後の傳染病豫防の爲め清潔法施行を處り十五日大和町本町十六日山城町錦町十七日旭町常盤町の日割を以て臨時大清潔法を施行する事となれり▲警務部長巡閲　十六日より巡閲の爲め出張の筈なりし齋藤忠淸南道警務部長は都合により延期し十八日より二週間の豫定を以て瑞山唐津の兩警察署へ出張の筈▲署長歸省　鮫島公州警察署長は暑中休暇を利用し三週間の豫定にて展墓の爲鄕里鹿兒島縣下へ歸省せり

人事消息

▲太田秀穗氏（京城高等普通學校長兼視學官）內地旅行中の所十七日朝歸京
▲川中玄貫氏（平壤高等普通學校長）十六日より義州新義州へ出張
▲柴崎鐵吉氏（京城中學校長）九月四日より江原道へ
▲大內辰雄氏（總督府技師）入京中の處十六日夜退京

［大塊庵諸彥へ申上候　平壤居士
昨夏の一大御傑作「夏空や輿安までは一區域」は拙居士が常に執筆と致居候處に有之候茲に謹んで献句一つ吟り候宜敷御修正願上候（八月十四日）
兩廣の煙全支に靡となり
本日京日の鄭家屯事變を見て献句一つ吟候宜敷御叱正願上候（十六日）
蛙追ひ活輪食へり盲蛇

社告
京城市內は從來盛文堂、文林堂の兩販賣店をして京城日報賣捌に從事せしめ居候處今回更に黃金町三丁目三三二を新設一層市內購讀者各位の御便宜を圖る事と致候右謹告仕候也
專賣店　新文堂　電話二七二五番（取次）
合資會社　京城日報社

市內讀者へ謹告
今回社員を派して盛文堂、文林堂及新文堂の市內販賣配達情況を調査致させ候間相伺候節は無御腹藏御示教被成下樣御願申上候
八月十七日　京城日報社

汽車時間表（七月十日改正）
[illegible]

海雲臺――より北邑内を望む

海雲臺から

◇さゞら波、砕けて散つて

第一信　海雲樓上にて　長城生

海へ行かうかそれとも山にしやうか、と夏の初めから幾度となく斯んな事を考へて居つた、青い松、白い砂濱、◆色々たる烈波に胸を洗はせて物思ひなく鴎のやうに水に戯れて遊んで疲れた軀を養ふたり生れ更つた程の健強の體になりたい、と思つては『そうだ〳〵海が好い海が好い』と極めて見たり。さら〳〵と流れて來る水晶のやうな溪川を溯つて瀧に浴したり螢も小暗い大深林の中に分け入つて夏を忘れながら冥想して見たり、久しぶりの足だめしをして見たいと思ふと『山だ、山だ、山に行かう』と極めて見たりした、その内に山と海と兩方へ行つて見たいとも慾ばつて見た。

△兩方一緒に行ける處はあるまいかなだん〳〵研究して見た＝それが今度海雲臺に行く動機となつた＝海雲臺そこには海もあり山もある、海には海水浴場があり漁場もあつて魚を取る處も見られる、海のすぐ北は山だ山には深林もあり瀧もある、そればかりではない、海と山との間の白い砂濱の松林の中には到る處に由緒ある温泉が噴出して居る、と云ふ話だ、其の日は丁度曇つて波が高かつたけれども、海路の絶景を聞いて居たから釜山の海岸から帆船を備つた、港口、五陸島柊柏島等の風光賞すべきもの甚だ多し風浪聊か高けれども又愉快である、赤崎半島の岬を廻つて愈々港口を出でると

△日本海の荒波は直ちに舩を打つて船の動揺は漸く烈しくなつたが船は巧みに岬の鼻を廻つて左水營灣へと進入つた此の灣は山を隔つて草梁、釜山鎭の東南に當つて居る左水營は右水營、統營と共に昔時朝鮮の水軍營の在つた處今も海岸に水城の跡が灣内の山上に狼火臺の旋跡が殘つて居る、左水營灣を形成して右方に突出した半島が所謂海雲臺である松に蔽はれたる奇巖に日本海の荒浪が砕けて散る邊りは丁度犬吠岬の燈臺附近によく似て居る陸の方には萇山山脈が屏風のやうに立ち廻つて山の麓から海までの平地にはコンモリとした松の林が其處彼處に點在して森でない處はすべて青々とした水田である。

△この廣い緑の野な白い砂濱が弓のやうに大曲りに縁を取つて居る砂濱には模様のやうに綺麗な松林が見ゑて稍の上から點々と人家の屋根が見ゑるそこが温泉場だ海岸近かく蜒々と起伏する砂邱の向ふに草葺の屋根ばかり見ゑるのはいふまでもなく漁師の家である『旦那來ましたよウー』と云ふ船頭の聲を待つまでもなく、綺麗に波が洗つて置いた海雲臺の砂濱に第一歩の足型を印した妙に私の足は輕く、三丁ばかりの間に百日紅の咲き充ちた村落の間を通り抜けて、旅館海雲樓に投じた、釜山の海岸を離れてから一時間と四十分ばかり經つた

△海雲樓は古くから在つた建物に修繕を加へたと云ふ話である　立派といふ程の家ではないが二階建ての非常に宏大な家である、二階から松林越しに海を眺めると前日來の風で沖の方は波の穂が白く高く湧き上つては磯へ打寄せて來る雄大な眺めだ、何時まで見て居つても見飽きが爲ない『お叔父さん海を見るのが好き？僕も大好ですよ』と可愛らしい子供が硝子戸の傍へ寄つて來た、

△子供は服部憲兵分隊長の坊ちやんであつた　そうだ。曇つては居るが雨は幸ひ降りそうもないから温泉に一浴して山へ行く事にした、海に浴びるにはあまりに波が高いからだ

三萬圓　小供二人の人質

鴨綠江對岸に馬賊の跋扈跳梁　頼みに思ふは日本の國旗

國境方面視察の途、平北の滿浦鎭から對岸の支那輯安縣の首府通溝に行つて知事にも會つた、其時及び其後如何に

◆滿洲馬賊の跳梁が烈しいか又對岸支那住民が朝鮮に於ける日本官憲を徳としてゐるかに付アチコチで大分話しを聞いた何でも通溝を東北に距る約六里の地點に先月初め馬賊の一團來襲して手酷い損害を一部落に與へ其處の民兵團長の息子二名を人質として引揚げた、而して一兩日後馬賊は團長に二三萬圓の金を持參すれば子供は可愛さうだから引渡さう、さもなければ殺して終うと

◆脅迫して來た、しかし團長は色々考へに末金は持つて行かぬ事とし自分の子供は思ひ切つて終つたと云ふ事だつた民兵の團長詰り地方の匪徒義勇兵の頭目にしてさへ此の厄に罹る位だから馬賊の跋扈横暴が對岸支那領に於ていかに甚大であるかと云ふ事を知るに充分ではないか、更に聞くと團長が馬賊の襲撃を受けた原因は旬日前其處の民兵が團長に指揮され近在を

◆徘徊する馬賊の一團を捕へた其の烈しい意趣返しだつたと云ふこんな風だから民兵の如きも馬賊を見附け次第グン〳〵フン縛る譯には行かない、若し馬賊に睨まれたら數に制限ある民兵は優勢な馬賊の爲め到底安穏に濟まされぬからである但し地方官憲なり又民兵は馬賊の難を防ぐのが其の主な任務であるから上級官憲や一般に對する面目上全く馬賊の警戒を解く譯にも行かずボツ〳〵馬賊就縛と云ふ報告はしてゐるけれども捕はるゝ奴は

◆馬の足にもつかれぬ難らしい斯際馬賊を恐るゝ支那官民の態度既に終りであるから從つて鴨綠江を越へた公正勇猛な日本官憲に對する信賴の度は仲々深いものがある、現に子供を奪はれた民兵團長の襲はれた時など部落の女小兒は殆んど全部平北に入り込んで吾が官憲の保護を受けた、又或地點では支那の官憲と日本の憲兵出張所が對立してゐる、其の憲兵出張所には斷と

◆勇ましい日章旗が常時掲げられてゐる、予は其の何故なるかを訊ねたら、斯く旗を出して置けば對岸の支那人が非常に頼みに思つて安堵してゐると云ふ事であつた、又多數の鮮人が支那領に移住してゐるから萬一の場合は憲兵も援助を惜まぬ更に馬賊も此の日章旗を望見しては容易に近在に近寄らぬらしい、之れから觀ても對岸の支那は

◆政府の威力の行はれぬ事が分り川一筋で風も鳴らされぬ朝鮮の平静と比較し其の差の著しきを感ぜざるを得ない（鈴木臨時土地調査局長談）

松尾中尉助からん

鄭家屯事件に戰死を報ぜられた

負傷後死亡せりと傳へられたる鄭家屯守備中の第二大隊第三中隊長松尾彦治氏は重傷なるも生命は取留むるならむ（奉天特電）

朝鮮風俗活動寫眞

日米親交に資せんため＝米人技師渡鮮

米國ボストン市のミレット氏は日米親交の材料に資す處あらんと既に一ケ月以前より來朝政府の援助を得て各地の人情風俗等を活動寫眞に撮影しつゝあるが既に日本各地の代表的地點の撮影を終りしより次に朝鮮に於ける人情風俗等を撮影する爲め來る廿二日釜山上陸約十日間の豫定にて各地の撮影旅行を爲す筈なりと

商人に化けた賊徒の首魁

廿餘名の部下を集めて村民を襲ふ

去る十日全北益山郡礪山面内唐里附近の山中に於て二名の鮮人暴徒に狙撃され其夜深更に及び附近の村落を襲ひし椿事あり

▲急報に接し　裡里憲兵分隊は直ちに現場に急行暴徒の首領全州郡佳川里崔柄夏（四十）及び部下二十名を捕縛したり彼等が首領たる前記崔柄夏は數年前より同地方の不良徒二十餘名の頭目となり至る處の村落を縱横無盡に荒し廻り居りたるが當時我が討伐軍の警戒嚴しかりしため一時銃器を山深く隱匿し首領崔は全州裡里方面を徘徊し部下も其々己れの膝近く潜め置き傍ら小商賈を營み居りしが過般來の降雨にて困難となれるより

▲部下を呼集し去る八月の初旬より益山郡の山麓に陣を構へ附近の村落を襲ひ金品を強奪しつゝある中八月十日午後錦山郡面里氏名不詳年齡四十前後の男二名が益山郡礪山面内唐里の山路を通行し居るを認め直ちに火繩銃を以て二名を射殺し金品衣類等を強奪して立ち去り其夜よりは礪山面より裡里方面にかけ

▲銃劍を携へ村落を襲ひ村民を脅迫して恣に暴行を働き居りたるも裡里憲兵分隊の手にて前記首領株七名と部下十餘名は捕縛さるゝに至りたるも殘黨の幾分は未だ就縛するに至らず裡里憲兵隊にては目下八方捜査中の由なり（全州）

大邱水道入札事件公判

廿四日判決言渡

既報の如く大邱水道石材入札に關する坂野喜一郎外六名に對する談合事件公判は十六日午前十一時より大邱地方法院に開廷せり西山裁判長村上檢事臨席廊澤地方法院長澁谷檢事竹崎大邱府尹傍聽辯護士席には堀池加藤武尾及釜山の岡棟三郎の諸氏出席例により西山裁判長の訊問了り村上檢事は此の如き社會に害毒を流すものは充分なる法の制裁を加ふ可しとて有罪の請求をなし堀池、加藤其他の辯護士は石材入札と四十圓の寄附とは何等因果關係を有して法規の制裁に觸る可きものあるを發見する能はず又競爭入札に當り入札價格の相談をせしものあらず單に相互の意見を聞きたるに過ぎず孰れの點より見るも無罪たらざる可からずと主張し西山裁判長は二十四日判決言渡すべきを宣し午後二時半閉廷せり

義足を穿た屍體

京畿道金浦郡陽西面開花里の漢江岸に十二日頃内地人男子の溺死體漂著し居るを發見し金浦署より警官出張檢視せしが死後約十日を經過し居る

誕生日に兒を拾ふ

十五日午後十時半頃京城社稷洞居住李王職理髪員洪慶喜方にては妻李姓女（三〇）の誕生日とて親族知己等を招待して祝宴中表門内に生後七個月許りなる朝鮮人男兒を遺棄しあるを發見したり同家は相當の資産家にして二人の女兒あるも男兒なきより養育中なりと

壁の下に壓死

京畿道楊州郡九阜面陶谷里李順敬（九）は妹なる同順姫（二）を背負ひ母の洪千季と共に十一日同里の畑にて草取り中午後五時頃俄かに降雨となりたるより路傍に在る約五十年前建てたる温突建の空家に外數名と共に雨を避け居る内俄然大音響と共に家屋崩壊したるより他の者は辛くも避難せしが前記姉妹は遂に無慘の壓死をなしたるものなりと

蚊遣りの火で燒死

高陽郡中面注葉里權芝善所有の山麓所在桐招小屋内に十二日夜年齡五十歳位の乞食體の朝鮮男子が宿泊し蚊遣りの爲め芝草或は藁を焚きて就寝したるに其殘火大事に及びて小屋を燒き拂ひ件の鮮人は無慘の燒死を遂げるたりと

讀者文藝（一等には五十錢の景品券を呈す）

▽狂歌『蚊』

○七草の模様綸蚊帳もしち草となりて利も喰ひ蚊にも喰はれる（一等）　京城林町　長谷川うつゝ

△夕涼み足數がせめるくすぶる軒の蚊やり線香でふせぐ計略　龍山　岡本小草子

△蚊の様な息子親父の脛噛り遊びそべつて夜遊びもする　京城　畑岡　小人

△人の血を搾る渡世の高利貸其血を吸ふて生くる蚊もあり　深川　櫻井　緋鯉

■課題及び募集規定は欄外にあり

孫の爲めに溺死

平南大同郡大平面下端里七統九戸金永祚（六〇）は八月十二日自宅より約一町餘りの大同江に於て孫の金確質が水泳中引潮のため溺死せんとするを發見し救助に向ひたるが確質は漸やく江岸に引上げたるも引潮の爲め金永祚は波に足を掠はれ水中に落込み溺死を遂げたり

停車場荒し

京城貫鐵洞卞柱鉉長男卞天文（二二）は三浦洞朴興泰弟朴老馬（二〇）と共謀し毎日南大門驛構内に紛れ込み旅客の雑踏の際を窺ひ掏摸を働き六月以降數名の內鮮婦人より財布を掏り取り或は優美館の劇場、鍾路の夜市等にても同様荒し廻り居るを鍾路署の手に捕はる

◎溜池に投身　平安南道江西郡城岩面竹馬里二統十戸桂大俊（二二）は昨年二兒を失ひ一家計困難の爲め多少精神に異状を呈し居りたるが八月十二日同里自宅附近の溜池に投身自殺を遂げたり

空家に美人

去る十三日の夕刻釜山府草梁支那町の空家の二階に一人の曲者潜伏し居るを隣家の支那人が發見し直ちに坂下派出所に届出でたる爲め警官出張して取調べたるに右は去る十日午前無斷にて家出したる同地緑町二丁目松月樓の抱へ花江事川上とく（一七）と判明せしが同人は情夫對馬熊外一名の爲めに唆かされたるものなりと

正午に頭の眞上を見よ

眞晝間に金星が美しく肉眼で見ゐる

仁川觀測所の天文觀測に依れば茲十日許り前から金星が晝間に曉の明星と云ふ星が晝間午後三時頃まで獅子座で三日月形をして輝いてゐるのがあり〳〵と肉眼で見られる素人には正午十二時頃頭の眞上の西南方を物凄から凝視すると容易に誰でも發見し得られる此現象は星が最も地球に接近した場合に屢々起るから別に不思議な事ではないが小さい星は普通見られない、今回の金星は去る九日が最大光度で其後漸次光度が薄らぎつゝあるも本月中位は晝間肉眼で認め得られるさうである來る二十五日には月に尾行する筈であるから當日は一層發見し易いとの事である此星は毎日午前九時半子午線を通過し其仰角は南方約七十度である（仁川）

娘を慕ふて發狂

時頃牧の島巡査派出所に至り自分の[illegible]めたいから許可せよと途法もないと[illegible]として金[illegible]せしより居合せたる[illegible]會中なりと（釜山）

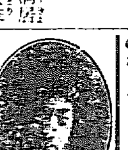
吉田竹風、武野[illegible]、鈴木丈司、野上忠三、小野二郎、川所文治、法次ゆき、稲垣伊太郎、同ふつ[illegible]、北村安太郎、[illegible]田利一、緒岡虎之助[illegible]

■讀者文藝課題及び募集規程

■募集規程　▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事

天氣　晴一時曇り　▲八月十八日[illegible]

日出　午前五時五十二分　日入　午後七時[illegible]



御婦人はかならずお讀遊せ

日本賢業博覽會に於て數多き髪油出品の內獨り金牌受領　本椿香油のみ　宮妃殿下宮内省御内儀御用光榮を蒙

髪を黒く長くつやを出しさら〳〵として髪のおちるを防ぎふけかゆみを去る

本舗　大阪　三宅堂

夏の胃

夏は誰も胃が弱り、水アタリ、暑氣アタリ食傷等の外、吐瀉病に罹り、其他の餘病を惹起す恐あり胃弱者は勿論、無病者も常に胃活を家庭に備へて、日々の持藥とし玉ふ事肝要なり

定價（胃活錠）貳圓、壹圓、五十錢、廿錢（胃活）壹圓、六拾五錢、四拾五錢、廿五錢、拾錢

請賣　全國及海外藥所の各藥店にあり

本舗　東京…大阪…山田安民藥房

正誤　昨十七日朝刊第一面大日本麥酒株式會社抽籤發表廣告中二等當籤番號『六四貳』は『六貳四』の誤植に付正誤す

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動株式會社京城代理店　八月十四日より特別大寫眞提供　[illegible]　探偵劇　國家の秘密　全三巻　[illegible]　新派大悲劇　[illegible]

御成座　電話一一九一　新派中村榮一行　第六十三回替藝題　一番目　公明正大　全四場　二番目　悲劇　[illegible]　全二場　切　[illegible]

黄金館　電話一八五二（階上）二六三七（階下）　[illegible]

京城府公文

一、砂利採取工事　百九圓

此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上

入札者ハ府内ニ於テ國税、地方費、府税、學校組合費年額三十圓以上ヲ納ムル者ニシテ二ケ年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル

右大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ付ス請負希望ノ向ハ本府會計係ニ就キ工事仕様書等熟覽ノ上本月二十一日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充指當[illegible]

大正五年八月十六日　京城府

十二指腸病　説明書は往復葉書にて申込次第進呈　大邱府東城町　電話四六三番　水田藥院

あらゆる他人の悪氣を豫防す

海に山に　何處へ行にも肌身離さぬ　衛生口錠　カオール

大寶解のヒスイ色　カオール一袋まが玉形付　廿五錢

◉大形入卅八錢　◉中形入五錢十錢一圓　◉鉛形廿五錢　◉箱入廿五錢

オリヂナル本舗　東京　安藤井筒堂　關西總代理店　大阪　藤森源之助

澄宮には早御片語を
▽聖上皇后兩陛下御近狀△
「宣はせ給ふ迄に御成長相成りしと承はる」

日光田母澤御用邸に御避暑中なる兩陛下の御近狀に就き近侍の某大官は謹んで語るやう「兩陛下には午前六時と申すに御起床あり、夜は九時頃御就寢あるも下々の如く浴衣掛にて打寛ぎ給ふが如き御事無く、聖上にはフロツクコート又は御軍服を召し和服は一度も召させられず、御疲勞の御樣子も無く嚴密に政務を聽はせ給ふだに畏し、皇后陛下には凉やかなる御洋裝を召さるゝを常とす、皇城に宮居し給ふとは異りて澄宮殿下の御室と餘り隔たり無ければ兩陛下御共に成らせ給ひ御邸內の御運動としては聖上には御乘馬、皇后には時々女官を伴はせ給ひて蓊鬱繁き木の下蔭、或は清き流れの谿川の畔に玉歩緩やかに運ばせらる、澄宮殿下には益々御健勝に渡らせられ此頃にて侍醫の意見に依り力めて御乳を避け重湯を主とし滋養に富む流動物を御勸め申上ぐるやうに承はれるが兩陛下と御對顏の節は元氣好く笑ませ給ひ時々御片語を發せられ侍女の膝より下りさせ給はんとするなど殊と健かに渡らせらる、因に兩陛下及び澄宮殿下の還幸啓は來月上旬の御豫定なりと拜聞す

協同傳道—日本基督各派聯合運動
江原素六氏の京城傳道參加——四牧師の來鮮

日本基督敎各派聯合運動たる協同傳道既往三年全國樞要の地に於て擧行したるが何れも良好の結果を擧げたりと云ふ而して朝鮮に於ける同傳道は來九月二日より十一日間に亙り

▼京城を中心 として釜山、大邱、木浦、群山、元山、咸興、海州、黃州、平壤、鎭南浦、新義州等內地人敎會の所在地は漏らす所なく擧行する筈にて京城に中央委員を置き東京本部との交渉、各地方との

▼聯絡を取り 準備着々進行しつゝあり同傳道の講師として來鮮する人には露無文治（組合）笹尾米太郎（日基）釘宮辰生（メソヂスト）宮崎小八郎（派外）の四牧師の外江原素六氏特に繰合せて

▼京城の運動 に參加する事となれり江原氏の德望高きとは人の熟知する處他の四牧師亦人格、學識、雄辯斯界に錚々の名あり同傳道

▼講師に適任 者として推擧せられたる人々なりと而京城に於ては九月七日より五日間に亙り大演說會、說敎會、婦人會其他各種の集合を催す筈なりと云ふ

「奥樣が被仰いました。御屋中鉄れますかアイスクリームの道具がお空きでしたら鳥渡拜借を願ひ度う存じます」

「ザア／＼何卒お使ひなすつて、丁度幸ひ妾も今日は何處へも出ませんから、何れあとからお手傳ひに參ります。それに丁度動力も遊んで居りますから……」（註し動力とは書生の事）

動力も遊んで居ります　めちや吉

此の頃の野菜
昨年よりは數が少なく相場は三割以上も高い

肉は不味いし魚の數が少ない昨今、皆樣の食膳に喜ばれるものは新鮮な野菜であらねばなりません、青物市場でたづねてみますと

◆青物類 で一番盛んに出るのは御婦人に歡迎される南瓜類いで西瓜なども恐ろしい程捌けてゆく一貫目の値段が西瓜七錢五厘から十錢南瓜が四錢から十錢位で南瓜と言へば近頃

◆薩摩芋 がポツ／＼出廻つて來ました、まだ走りのせいか相場は非常に高く、內地から來る甘藷が一貫三十錢、京城附近で穫れる源氏芋といふのが二十五錢二十八錢位ひで迫がに新芋丈に

◆お旨い さうです、此の外新らしく出て來たものとしては新生薑が六十錢、玉菜が十二三錢、小芋が三十二三錢の外茄子、胡瓜、葱牛蒡など有觸れたものは記すまでもありませんが今年は水のために野菜が

◆少なく 昨年に比べて三割方も値が張つて居るさうで御座います

河童の働き水瓜取り
平壤中學校の水泳競技會

平壤中學校に於ては八月十六日午前十時より水泳練習及び競技會を大同江船橋面前に於て行ひたるが定刻に至るや赤木校長生徒一同に對し訓示を爲し佐々敎員の指揮にて團體運動、水書、御前泳、三間十間三十間百間の競泳等を爲し最後に西瓜取りの競爭ありたるが練習日尙淺きに拘らず生徒一同何れも秩序正しく天晴れの競泳振を見せたり殊に南北兩軍の西瓜取は當日の見物にして北軍の勇士將に勝鬨を擧げんとせば南軍の荒武者出來りて奪取り相爭戰ふこと十數回終に南軍の勝利となり夫れ以上の競技終るや船橋里の河岸にて記念の撮影を爲し船橋里の職跡綠陰の下に於て茶話會を催し席上校長及び敎員並に生徒の講演會等あり中々の盛會を極めたり

◎書畫骨董夜間入札 來る二十日夜南山町松葉亭に於て馬山某氏より近藤佐五郎氏に依託し來れる書畫骨董入札を行ふ由

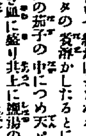
◎山口太兵衞氏の避暑 山口太兵衞氏は今度奥樣を除く外家族一同で元山に避暑されました

神社とお寺と教會
○開敎院（水町三） 十八十九兩日午後八時より東京宗敎大學講師長谷川先生の納凉傳道の講演があります演題は大和民族使命及び余が信仰なりと

○西本願寺（若草町） 十七日午後八時半より明如上人の御逮夜あり尙十八日午後二時より三日敎あり

○曹洞宗別院（若草町） 十八日午後八時より說敎講あり

○龍山天理敎布敎所 十七日午後八時より婦人例會ある筈

だいどころ　その日／＼


エツグランドポテート　茄子を立二つに割りて中を割り拔き茹で置き別にトマトの皮をとりて細かにきざみパン粉とバタの茸類かしたるとに鹽胡椒とを加へてまぜ前の茄子の中につめ天パンにならべて天火にて燒き皿に盛り其上に澄湯の中へ玉子を割りて落し半熟へとしたるを杓子にてすくひ上て汁をよくきりたるを二つのせ粉チーズを少々ふりかけて出す（青木はつ子）

番茶のあと
梨が出て間も無い京城の市中には二三日前からナイヤガラだのワシントンだのといふ靑や、紫の葡萄のはしりが出て參りました▲値段はまだ大分高く石油箱に一ぱい卸賣が一圓二十錢位ださうです今京城に來て居るのは大邱物が大部分を占めて居ります▲京城の靑物市場には以前から餘り西洋野菜を見受けませんが之れは京城には需要が少ないので自然栽培する人が無いのださうです▲此の頃市場に見受けるのは例のトマトで之れはよく一般の嗜好に投ずると見ねて中々賣れゆきがいゝさうです直段は一貫目三十錢位ゐ

商況

東京株式特電
十七日

	前場寄付	大引
日本郵船	二〇四・〇〇	二〇一・〇〇
[illegible]	一九七・〇〇	一九六・〇〇
[illegible]	一九六・〇〇	一九六・九〇
東新	—	—
東新	—	—
東新	—	—
東新	—	—
東新	—	—

債券現物特電
十七日出來値段（前日との比較）

	値段	比較
東京市債	—	—
東洋拓殖	—	—
京釜鐵道	—	—
朝鮮銀行	—	—
南滿鐵道	—	—

公債直取引
東京特電 十七日出來値段（前日との比較）

	値段	比較
甲號五分利	九七・九〇	—
五分利	—	—
四分利	—	—
四分半	—	—
五分利	—	—

深川在米特電
十七日現在高

	數量
內地米	一二、三一九
鮮米	一四、七四〇五
外米	一、五七二八〇

東京期米特電

	前場寄付	後場
當限	五八七	—
中限	五九一	—
先限	五七五	—
	五七八	—

大阪株式特電
十七日

種類	拂込	前場	後場
宇治川水	[illegible]	—	—
神戸電鐵	[illegible]	—	—
京阪電氣	[illegible]	—	—
阪神電氣	[illegible]	—	—
南海鐵道	[illegible]	—	—
大阪瓦斯	[illegible]	—	—
同新株	[illegible]	—	—
大阪商船	[illegible]	—	—
東洋紡績	[illegible]	—	—
大日本紡	[illegible]	—	—
大阪郵船	[illegible]	—	—
日本米穀	[illegible]	—	—
東京新株	[illegible]	—	—
大阪株式	[illegible]	—	—

大阪三品特電

大阪期米特電
十七日前場

	寄付	引
八月限	四八・〇〇〇	四八・八〇
九月限	四八・九〇〇	四八・九〇
十月限	四八・八〇〇	四八・四〇
十一月限	四八・一〇〇	四七・六〇
十二月限	四八・〇〇〇	四七・六〇
一月限	四七・九〇〇	四七・六〇

下關期米特電
十七日前場

	寄付	引
當限	四・九〇	—
中限	五・三九〇	め止
先限	五・九一	—

雜報
十七日前場　順季廻され

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●粗布又値上げ
十六日の大阪綿布は台社十錢市中十二錢五厘高の入電にて市中相場は今や龍シーの五圓二十五錢を傳へられ合社一月相場さしても五圓二十錢となり本年上の最高を顯するに至り一面印度の輸出手合さ綿高を傳へたる爲め當地綿布界の人氣も更に一段の硬勢を促がし粗布の標準品たる三ーヱー環は目又々一圓の値上げ行はれびて四十圓搬拔きの

百五十一圓を發表
するに至り之れ其精果建値は愈々と既往の最高値たる大正二年十月の百四十八圓を抜くこと三圓に上て合社側に於ては近來印度其他の輸出好況にして朝鮮向に比し又有利なるある爲め自然其方面に製織を轉じつゝある模樣にて昨今朝鮮向粗布は漸く在荷の拂底を來さしの如き狀態にの需要も漸く多からんとする現象にあれば目下相場も恐らく高値に至り之れ其方面の先行を期して其勢を先取り居れる模樣なるに於ても今後果して如何なる形勢を示すにや否やは一に合社の

割高
の場合さ全然反對の供給を示すに至りし場合果然前途の供給を懸念されつゝあるが爲めにして特約店を布ありし以上合社は之に對し品切等を云爲し供給を中絕するか如き事情の許さゞる處なれば此際殆ど

氣走り的に値段を釣上げ而して思惑者流の買浚へ防ぐべき境遇に陷らざる樣との事共に前途斯くの如き境遇に陷れるものゝなるべしより警戒を加へ居れる向は今しとの觀測行はれ居れり左れば當地も同居中持品の多き向も決して投急がず徐ろに時期の到來を待ち居れり

●綿絲は小戻し
綿絲は現物頗る拂底の模樣にて十六日の大阪入電は平螺十六手百三十八圓十手百二十三圓を報じ三品又九圓餘に昂騰し皆て期待されし五十圓をも突破せんの勢なりしが今前場は人氣一變引けにて昨止めより五七十錢方の下押しを報じたり之果して人氣の轉か否やは疑問なるも四圍の事情よりすれば恐らく一時的の現象に過ぎざるべし元より姿態相場に對する致としても此邊の押目は當然たるべく此間には確定に於ける支那筋の買行本件なども含まれ居らんも左程懸念の薄らぐと共に更に好勢に轉ずる事となるべし

●小麥產地益強硬
小麥は產地從來高氣配にて昨今漢陽院前の如き南大門驛着の

八圓四五十錢
を報じつゝあるも共許上物の貢なれば產地相場さの值幅擴大し器貨は頗に

全く引合の餘地
なく目下八圓そこ／＼の物が弗々手合せあるのみにて入荷も一向目立たる物なし

●裸麥好氣配
裸麥は釜山邊りが前線の各地に台逐せらるゝ物少ならず爲めに京釜線方面は產地頗る強硬にて當地への入荷捗々しからず目下の相場は

六圓六十錢處
を唱へ昨日より

安値より約二十錢高
の氣配なり

下關相場
▲朝鮮白米は矢張高し 前報後出廻り途切れたるのみならず產地の如きは益々高く最近釜山港よりの入電に依れば一等白米にて乘りの十五圓七十錢を傳ふるに至りたる杯各米主の賣り腰強きに依り矢張市況高く然れども既記の如く頃日來當用大に減退せしより現價賣れ行き捗々しからず出來値は左の通りなるも眞の小口手合せのみ

▲小豆は好人氣 本品は既報の如き事情の下に產地の如き競切り高騰を傳へたるより前途高見越しなし手持筋の氣張り居る爲め人氣好況を極め前日來地場筋へ段々商談行はれつゝあるも秘密に附し居れり

▲大豆は依然強ます 本品は其後買進む相入現はれずして賣れ行きの捗々しからぬと共に其後別段相場の昇進み見るに至らず然れども依然產地の人氣安からぬのみならず其後出廻りも僅少なる旁各手持筋の賣り急がざるに依り矢張市況弛まず之れが弗々の出來値は左の通りなり

△朝鮮一等白米	十五圓五十錢
△同（當用）	十五圓六十錢
△同（當用）	十五圓六十五錢
△同二等白米（當用）	十五圓三十錢
△新義州大豆	十四圓三十五錢
△義州大豆	九圓七十錢
△元山大豆並上	十圓六十五錢

田中商會　一等米穀現物賣買の現在値段 電話 二六二八 一五二

京城正米
釜山の米價昂騰に連れ南鮮方面一帶に日々高報を傳へ慶山方面の如き本月初旬神力に十二圓五十錢にて出來せしものが十六日の入電は十三圓八十錢を呈するに至り地廻りの當地より遙かに割高の價なりと云ふも雖も何分各種米筋は殆ど手詰まりの狀態なれば今後如何に商況仍行はるゝや期米の不勞なる丈け買人の附値さしては高値より先づ二三十錢安の見當なるが如し

南大門の廻穀

黃州大麥	九三〇叺	平壤大麥	一四〇叺
仁川玄米	三五〇叺	大田玄米	一五〇叺
水原白米	四五〇叺	大田小麥	七三〇叺
平澤白米	六七〇叺	群山白米	一三〇叺
平澤白米	三五〇叺	[illegible]	一九六叺
水原白米	八五叺		

京城雜穀
小豆は赤のみ好氣配にて大豆は持合ひ平穩に終始し品薄の爲め取引出來ず從つて相場は先づ持合にして別に記すべき由無し其他麥類は別項の如し

仁川現物市場
▲粟 入津二百餘俵氣配は保合を唱へ居れり

▲正米 入津百餘叺氣配は別段變りなきも期米安に多少ボンヤリを傳へ居れり

▲小麥 入津五六百叺氣配は強人氣を唱へ居れり

仁川米豆取引所仲買人　海岸町二丁目　三巴仲買店　電話三〇三〇　電信略號（三又）

釜山穀物市場　十六日
▲正米（小付し） 本邦期米は一寸保合の狀態にて寄したる變動もなく小往來ありしも當地商況は[illegible]ありしも賣り物乏しからず氣配は一寸西國への[illegible]にて米主側も賣り急ぎの傾きなれども買人の精米筋は本日は原料の必要を感ぜざると幾分か先安な氣構へたる趨勢にして一齊買ひ控への狀態にして殆んど賣るべき取引もなく午前中僅かに玄米三百二十七個の取引ありたるのみにして氣配は弱保合也

△大豆 依然賣り物鮮なく只小口取引のみにして氣配は保合なり

總出來高

玄米	三百七十個
小豆	三百二十七個
大豆	二十個
	十三個

生魚市場
著荷は相變らず仁川物大部分にて其內本日は二ベ尤も多く次で鯛鯖なり其他は釜山サワラ鯖海鼠及び雜魚類な取合せ京城少數なるが酷暑の折柄一般需要の鈍ぶき爲め氣配は不勢なり目丸市場平均出來値左の如し

タイ一六、サワラ一五、スズキ一三、ハモ一〇、アナゴ九、イセエビ三〇、クルマエビ五〇、メバル一二、コノシロ九、ニベ七、アワビ一四、アユ二六、赤エ四

仁川期米
▲十七日前場 兵庫縣奇 十五前 大阪天候晴天 寄前 二回 七十錢 十五圓 六十五錢さ昨止より十二錢安の入電二節六十六錢の移り當地出來不申中四節に至り十三圓四十錢先十三圓五十三錢さ八錢安に寄付たるも利喰に新規に買物多く一面投げに新規に賣物現はれたるも五錢さ返し三五錢にて大促戰な商ひたるが大阪七節七十二錢さ高移りに買物現はれ八錢賣物多く六錢さ跳ねたるも戻りは辷りたる折柄七十五錢さ轉じたる大阪九節氣沸騰し戻りは六十錢さ跳ねたる人五十八錢さ押して保合の裡に支へり伸び惱みの成行を演じて散會

▲十七日前場 中限■十三圓四十錢 出來高五十石

仁川米豆取引所仲買人　まるにち　仲買店　支配人 土居 勝　電話二八二番 二八三番

市場零聞
▲下放れ跡返す 昨日來天候は快晴となりたると不勞の機先 大阪の下放れを受け十五錢五十三錢下放れに寄付たるか㊅今の目先利喰置退き多く⑧⑨⑬等より

▲新規に投げ 賣物續出した底強し（崩れるもの下りの場面となり折柄跡高を移して八錢と進みたるも戻り無事に上伸せず六錢と延びたるに乍ら

▲大阪の暴騰を移し（②③等より買物現はれ六十錢了度と更に押しとしたるも今の寶に伸びず八錢と押して散會を告げたり市況は大阪の不勞に小口投げを招致したるに目先利

▲跳ね返しに向つて賣直し 賣買退き多く

▲新規の戰爭 となり市場は相場の變動に連れ頗ぶる提携を演出したり不如今後の成行や果して如何

▲前場の手振 何重なる商內 當方今八千餘石△七千餘石△各五千餘石△各二千餘石△四千餘石△各千餘石等に對し買方へ八千餘石△各千餘石等にして市場は相場の狀勢に連れ頗ぶる盛況を呈したり

▲への大商內 今前場大阪の下放れに連れて當地も下放れ同店より能く買物を發し爲に一時下支への運ありたるが戻りに向ひ能く買り退き大商內を敢行したり之に次ぎ⑤も大商內であつた

▲今筋能く賣る 前場の下放れに能く買退きたるが戻りには又能く賣り直したり

▲人氣動搖す 今前場大阪の天候の快晴に十三圓五十三錢さ下放れに寄付たる[illegible]

▲硬軍の見送り [illegible]

▲下辷り伸び惱み [illegible]市場の人氣展開したる[illegible]今後變更均して侯つ者あらん

▲大阪の成行 前日十六圓〇十 大阪の最高値を見出してより何となく頭重き成行と變じ此處一押しな後期せられしか十五圓八十錢を見せて存外下げ辷りとなり保合を報じ居りたるが昨後場より不勞に陷り今場更に十五圓六十五錢と下放れた報じ茲に始めて豫期せられし押目なる作りたり然るに是絕好の押目

▲氣迷を生じ 居るやに就ては一段の下値あるも跡忽然十五圓八十五錢と暴騰を報じたるより果して絕好の押目りしを見はしめたり仁川市場の成行は前報せし如く大阪の最高値十六圓〇八錢を報じたるも人氣は既に一押しを期待し反つて下遊びたる帶鎮ぶる

▲相場の機先 を制し居りたるが大阪の押し目を報じたるも存外下盛り狀態となり今又大阪の暴騰を報ずるあるも伸び惱み居るは畢竟目先利喰賣りさ戻り賣人氣の旺盛なるに依る者あらがさ推しらる時は追々大變動期に接近しつゝあるの場合今後の本職期して侯つ者あらん

▲押目か否か 大阪十五圓 六十一錢と發合し六十八錢を高値に急轉十四圓台に元落したるも本年作柄の前悲觀に預きたると正米の立直りに形勢一變途に十六圓〇八錢大暴騰を報じたるが故に頭支機樣となり今前場十五圓六十五錢と反動的な報じて忽ち七十五錢と此れ返したるより始めて强氣筋は好個の押目なりとし

▲弱氣筋は絕好の戻りとなし居るも如く居るに反し是果して押目なるか將た戻りなるか各見解を異にし居れるも時節柄絕好の押目なりしを思はしむるも如何

仁川米豆取引所
十七日の十月限

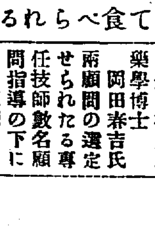
	前場
寄付	十三圓五十三錢
止め	十三圓五十九錢
高値	十三圓六十錢
安値	十三圓五十錢
出來	三萬二千石
一節	十三圓五十三錢
二節	十三圓四十錢
三節	十三圓四十四錢
四節	十三圓五十五錢
五節	十三圓五十七錢

平均値段	
賣買取組高	
八月限	二萬二百石
九月限	二萬三百石
十月限	三千五百石
四萬	七百五十石
後場	前日と比較
十六日	一六安

白米標準値
十六日

三、六一九	六安
三、六九	二安
三、五六	九安
三、五九	六安

暑中中元の進物には
赤玉ポートワイン
日が經てば經つ程益々品の善くなる純生粹葡萄酒ですから貰つた人は大よろこびです。

夏が試金石
炎暑に倦まず又屈せずいよ／＼元氣旺盛なる諸君は平素御愛用せらるゝ本品の効驗を今ぞ自覺し給ふべし
煙草代用
森永ミルクキヤラメル
ポケツト用大十錢小五錢


安心して食べられる菓子
當會社特設の化學試驗部に於ては藥學博士丹波敬三氏藥學博士岡田恭吉氏兩顧問の選定せられたる專任技師數名顧問指導の下に日日使用する原料を檢定して品質の統一を期す
森永製菓株式會社
5—11

お待兼の

アイボリー石鹼
漸く着荷。不相變御愛用を願ひます。
ヱグゾン石鹼は清冽なる芳香を以て有名。アイボリー石鹼には芳香なきも共に世界有數の純良石鹼です。
輸入及製造元　東京・丸の内　藤原商店　支店・京城黃金町二丁目

債券旬報
●買値段 勸業債券特別高價買入
四十四回
五十一回
五十二回
五十四回
五十八回
六十三回
六十四回
（當値段本月廿日限）
●銀行荷爲替御時受拂
一、債券を高價に賣らんとするものは大阪債券株式會社へ
一、債券を安價に買はんとするものは大阪債券株式會社へ
一、大阪債券株式會社の月賦販賣法は趣味と實益の點に於て最も歡迎せらる（營業案內御申越次第贈呈）
大阪債券株式會社
大阪市東區南久太郎町二丁目（堺筋）電話東四六四三番振替大阪二九四一四番
出張所所在地…京都市烏丸通四條上ル電中二五二八番…神戶市元町通六丁目電本局三〇八二番

宮本武藏

第百三十二回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

此方は三浦屋の雲井、眞青になつて歸つて參り、四郎左衛門に此話をする、四郎左衛門も大きに驚いたが何しろ宮本先生に知らせなければならんと直ぐに屋敷へ使ひを出すと、宮本は生憎遠乘に出て不在だといふ返辭、四郎左衛門氣を揉みましたが仕方がない、其内尾張屋へ樣子を聞にやるともう客は歸つた後で、雲井も殘念に思ひましたが據ない、翌日宮本が三浦屋へ來たから四郎左衛門が此話をする宮本が　武『其れは殘念だ、手に入つた敵を逃したやうなもの、併し之れは急く事でない、一樹如見と長束が一緒に來る所を見ると如見の道場に足を止めて居るか、左なくとも市中何れかに姿を隱して居るに相違ない、必らず拙者が敵を討たして進ずる、まづ其れに付けても早く左門殿を尋ね出さなければならん、同じ事なら姉弟揃つた仇討をさせたいといふ考へ、拙者は急いで左門殿を探すに依つて御身も今暫時辛抱なさるやう、猶ほ亦御亭主にもお雪殿の身の上に間違ひのないやう何分お頼み申す　四『仰せまでもございません、お雪殿は只の召使ひと違ひ大切な預り人、私も三浦屋四郎左衛門でございます決して雲井に惡人共の指でも指させる事ではございません　武『其れで拙者も安心した、デは何分宜しく』と武藏は其儘立歸りましたが、翌日の事、細川家へ有馬家から使者が來て御當家の宮本先生に武術の講義をして頂きたいと申込んで參りました、之れは有馬家に限らず諸侯の屋敷から宮本先生を招く、細川家でも太守御自慢で天下の名士を召抱へた予は大器量人であると鼻を高くしてお在でなさるから決して宮本を貸さんとは仰しやらない、有馬家の招待で其日は宮本先生芝赤羽橋の有馬邸へ參りまして武術の講義をいたし、有馬玄蕃頭頼純侯御滿足にて御酒を下され夜に至つてお暇いたし武藏先生上機嫌で大手前の細川の屋敷へ立歸つて來る、飯倉通りへ懸つて來る右が増上寺の森で左の方は町家になつて居る、ダラ／＼坂を上ると四角になつて右へ曲れば御成門左へ曲れば麻布六本木、眞直ぐに來れば西の久保といふ所、晝間でも淋しい場所でございます、武藏先生月を見ながら手拍子面白く　武『我慢高雄の峰に住んで、人の爲めには愛宕山、假と棚曳き雲と成つて、月は鞍馬の、僧正が谷を響かし峰を動し嵐木枯瀧の音、天狗倒しは夥たとしや』と鞍馬天狗の謠を唄ひ乍ら仲間を一人連れて歩行いて來ると、後ろの方から忍び足で跡を慕て來た一人の武士、黒き頭巾で面を包んで袴の股立を高く取上げ、腰に帶びたる三尺餘の業物、バタ／＼と武藏の後ろへ近付くや否や聲をも掛ず振打ちにスパーリ切付けた、咄嗟眞二つと見へたるが天下の名人宮本正名、月に閃めく刄の影を見るより早く身を交し、空を切つて泳ぎ、一刀、持つた鐵扇にてピシーリ打つた、鐵扇で鍔際を打たれたから小手がビリ／＼と痺れる、仕損じたりと件の曲者、一刀取直して正面から切込んで來る

武『何奴なれば名乘りもせず、卑怯未練の振舞をいたす、其名を名乘れ名乘れ／＼』と言へども疊み懸けて切込んで來る一刀、推參なりと鐵扇を投捨て、則國の一刀鞘を拂つてチヤン／＼チヤリン二打三打合せたが曲者も仲々の拔術、なれども武藏から見れば小兒同然、切込んで來る奴を引外し、一刀の背を返して小手をエイッと打つたから腕痺れて思はず一刀取落す、最早叶はんと思つたか作法の武士道を返すにバラ／＼と逃出した、カラ／＼と笑つた宮本武藏　武『何奴かは知らんが思ひの外弱い男だ、コレ八藏什麼した　八『ヘイ此處に居ります　武『何故大道に坐つて居る　八『ヘイ坐りたくもございませんが據なく坐つて居ります　武『可笑しな奴だ、早く立て　八『脱けて居ります　武『何が脱けた　八『腰が脱けまして立つことが出來ません　武『アハヽヽ、意氣地のない奴だな、サア拙者が起こしてやる、確かりしろ　八『曲者は如何いたしました　武『大層な事をいふな如何したもないもんだ腰を脱かした癖に、手數の懸る奴だ併し屋敷へ歸つても此話をしてはならんぞ』

八月十九日九星
舊七月廿一日戊子
本命六白乾定先負

▲六白 一寸躊躇する事有る日新事見合南方に吉路鍛乾▲七赤 舊冤を雪ぎ新に幸福を得る日萬事進で利有女子は一際よき事有り待人來る▲八白 齒切れよき日轉居入學金談名弘家作求職婚禮試驗を受る等皆吉▲九紫 談を要する日新事手控右の事は吉衛生に注意せらるべし▲一白 幸福の日轉居開業入學名弘造船求職嫁入り美術藥等皆吉▲二黑 大願叶ふ日轉居入學金談名弘求職建築移轉金融機械業等萬吉▲三碧 んちんかんの事有る日新事手控病氣は妨なし▲四綠 平凡の日なれども新事控目の方吉植事樹を植るは吉▲五黄 廉潔の日轉居開業入學求職探鑛金作婚禮學校教育を開く等萬吉

遊漁具 投網 四分目長二十尋 鉛岩九百匁付極上麻糸製七圓五十錢 絹糸代用アヤ糸製六圓五十錢 タカ糸製六圓 其他目の大小網の長短等種々有之候

京城永樂町二丁目
釣道具 投網 製造 小賣 卸
吉備商會
其他一式 監獄署製品販賣所
釣道具販賣 地方特約店募集

特効新藥 かつけ
陸軍一等軍醫正 ドクトル都築甚之助氏發見
日、米、獨政府專賣特許
アンチベリベリン
▼用法は…內服と注射
▼目的は…豫防と治療
▼常用は…萬全の上策
▼注射は…衝心の救急
▼適應は…かつけ一切
定價 (表)
說明書送呈 郵券二錢
發賣元 東京市麻布區笄町 南信堂藥局
代理店 京城本町二丁目 木下不老堂

特効新藥 かつけ

新藥 流經 レスノリン 月經
閉止經過四五ケ月以內ニ應用ノ目的ヲ達ス
流經 其他藥價一圓送費共 切手代用一割增 說明書進呈
發行所 常盤藥院

品質本位

此の關一つが命です
一時の流行と永久の信用との分るゝ所は品質の善惡にあるのですが、我が國產の
品質本位
花王石鹸は
常に此の關所の通券があります

花王石鹸發賣元 東京馬喰町 長瀨商會
花王石鹸關西代理店 大阪安土町 大崎組商會

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS 120 in a bottle ... ... ¥ 1.20
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS 100 drops in a bottle ... ... ¥ 1.20

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are Supplement with albumen, and a further addition of the effective element of iron, lime and phosphorus quinine.

▼甚しき臭味を忍びて肝油を飲用すべき時代は去れり
河合龜太郎氏創製
ミツワ肝油ドロップス
本邦及英米獨露政府 專賣特許
◎肝油ドロップス 肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る滋養強壯料なり
◎複方肝油ドロップス 肝油の含量を半減して、有機鐵、有機燐及び石灰、規那等を含有せしむ

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用
五歳以下 一回一顆又は二顆
十歳以下 一回二顆乃至四顆
十五歳以下 一回三顆又は四顆
大人 一回四顆乃至六顆

滋養強壯料

肝油が一般の虚弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑として内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき『肝油ドロップス』を創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆ど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、嚴暑の候と雖も、冬季と異る事なく消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所也

(現品縮寫圖)

ミツワ石鹸 ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目 丸見屋商店 電話浪花三〇五四、四四八、四九一 振替東京七一〇番

京城日報

第三版

十八日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金七拾五錢 前金三ヶ月 金貳圓拾錢(郵税共) 廣告料 五號活字一行金五拾錢 ▲ 京城太平通一丁目 發行所 合資京城日報社 發行兼編輯人 奥田直介 印刷人 小川三之 電話 編輯用 二四番 營業用 二三六番

大阪期米

▲後場 當限寄付十四圓六十七錢止め七十錢△中限寄付十五圓十九錢止め十九錢△先限寄付十五圓六十六錢止め六十七錢

仁川米豆取引所

▲後場小變動 大阪の又後下寄りを示して敗着

▲後場の手振

▲今能く賣

十七日の十月 [illegible]

京城日報

拓殖政策

頃者我帝國本土學者識者間に、我日本人は何れの方向を取りて移植殖民すべきかに就き、研究を求むるもの多きは、吾人の甚だ喜ぶところなり。拓殖計畫と云ひ、移民經營と云ふも、自ら一定の方針ありて存せざるべからず。其謂ふところの方針先づ定りて、而して後に初めて其計畫を說き、經營を議すべきなり。吾人は此種の問題に對する毎に、故桂公及び小村侯の卓見を稱揚せざるべからざるなり。桂公政局に立つの日常に我日本民族の異邦に赴いて空しく他人の役に服するを以て、國家經濟上の利にあらずと爲す。偶ま小村侯英國より歸りて內閣に入るや一の民族は一定の方面に占據するを尚ぶ、其を四方に離散せしむるは、自ら弱くする所以なりと說き、公侯の意見此に一致して、東洋の拓殖方針、米國出稼人に對する根本政策を定め得たりと云ふ。天地間我日本民族は、餘り多くは存在せず。多くもあらぬ日本民族を、南北米、南洋、阿弗利加等に移出することを促がさば、其結果は寒心すべきものあり。我帝國本土は產業の發達甚だ急速なるを以て、假令人口增殖力旺盛なりとも、決して多くの過剩人口を出すことなし。若し幸に過剩あらば我朝鮮を根據として、之を滿洲蒙古若くは支那の地に移出し、各自其拓殖の業に從はしむべきなり。而して拓殖の要は、其人民をして孤立せしめざるにあり。大凡本土を出で、拓殖の事に從ふものは、互に其交通上の連絡を全くするは勿論、遠近相臨みて共働相助の實を擧ぐるに非ざれば、其功業を擧げ、其福祉を全くすべからず。古來植民經營拓殖計畫を試みて、失敗せるもの、多くは、此根本要件を顧みずして、其移民を孤立せしめたるに是れ由る。

且拓殖の功を收めむと欲せば、先づ其國民の出稼人不熟練勞働者となりて、外國に出で行くを制止せざるべからず。由來出稼人なるものは、只其日其日の貨銀を得て、此に衣食せむと欲するものにして、其土地に定著し其事業の成功を求むることなし。是れ一旦出稼人となるときは、其素質低下するもの多き所以なり。然れども其初めに當りて、其の素質は決して低下なりとせず。寧ろ國民中年壯氣鋭爲すあるに足るもの、好みて遠國に出稼するといふ傾あり。即ち是れ遠國出稼は國內素質優良なるものを驅り出して、其を低下するものたらざるべからず。啻に之のみならず、優良なるものは遠國に出で去り、其の新領土又は勢力範圍に赴くものは、其素質較々下るものなるとき、拓殖事業の健全なる發達は得て望むべからず。乃ち猥りに遠國出稼人を出すことは、國家に取りては二重三重の不利を招く所以にして、其禍患遂に測るべからざるものあらむとす。是れ吾人が常に我日本民族を亜細亞の一方に集中して、其の國民的發達の功を全くすべきことを主張する所以也。

國境の經濟(十一)

六、江岸の支那貨 3

△貨幣と物價 支那貨幣流通地方に於ては其農産物は概ね支那商人に賣却し日常の需要品の供給も亦主として之を對岸に仰ぐ狀況なる故物價は支那貨に依るの已むを得ざる現況である、併し日貨支那貨又錯して自由に流通するが故に、金融の緩慢は直ちに物價に影響を及ぼすも、支那流通額の多少のみが物價に影響するが如き事實は認めない、支那相場の騰落は多少物價に影響を及ぼすので、其の影響の程度は商品の種類に依りて異なるもの、如くである、例へば農産物に就て見るに、米、大豆の如き內地向のものにありては相場騰落の影響を受くると少なく雜貨、商業の如き對岸に於て需要せらるゝものは其影響を受くること比較的に多いやうである勿論物價は諸種の原因が錯綜して高低を來すのみならず、支那貨相場騰落の物價に及ぼす影響微弱なる故數字を揭げて具體的に說明することは困難である、

△ヨケトン相場 楚山郡を中心とし渭原碧潼昌城の諸郡の一部に於ては地方民間の取引にヨケトン建を用ふ、ヨケトンは朝鮮語にて「此處の金」と云ふ義であるが今日に於てはヨケトンと稱する貨幣は實在しない、其の授受する貨幣は支那貨又は日本貨であつて、ヨケトンは單に物價の稱呼に過ぎない。其起原に就ては古老間に其所說を異にし、或は葉錢を以て四銀なりとし、或は葉錢を指して稱すとも云ふ、眞否遽に斷じ難いが支那貨百元はヨケトン九十兩に相當し、銀相場の高低如何に拘らず交換率に變動なきを見ればヨケトンは銀本位なること、疑の餘地がない、前述の如くヨケトン貨幣なるもの實在せぬ故に此相場による取引に際し支那貨を以てするも一々換算の手數を要し日貨を以て受授せんとする時はヨケトンを先づ支那貨に換算するが如き一層煩雜なる計算を要する故ヨケトン相場建は日貨の流通を阻害し却て支那貨の流通を助長する虞あるのみならず、此相場建の廢止は支那貨による取引にも驅らざる便宜を與ふるものである、されば當局者は幾多の利益ありて而も障害あるものなれば、ヨケトン相場建の存置は取引上不便なるのみならず何等の利益なき旨を論示して其打破に努めて居るさうである、殊に近來他地方との交通取引密接を加ふると共に地方民もヨケトン相場建の無益有害なるを自覺し來たといふ、其の廢止せられて跡を絕つも遠くはないであらう。

露國に於ける米の需用(五)

瞰溪生

露國に於ける米の需用に就て視察者が皆一樣に米は專らライスカレーとして食するから餘り粘り氣のない方を好むなど、言ふて居るがこれは皮相の觀察である、なるほど中流以上ではライスカレーにして食するものもあるが中流以下ではライスカレーなどにして食するものは殆どない、既述の如く多くは飯に炊きてバタ又はスメタンなどを塗り付けて食べるか或は豆飯粟飯に炊きて魍肉のソツプの中に入れて食するのである、故に粘氣の多いとか少ないとか云ふ小言は槪して言はないのだ、段々食ひ慣れて來たら粘氣の多いのが好いとか粘氣の少ないのが好いとか云ふ樣になるだらうが其れも今から朝鮮米を食せしむれば終には朝鮮米に限ると云ふ樣になるかも知れぬ、要は朝鮮米を洽く行渡らしむるにある中流以下に廣く需用せしめねば多額の需用は起らぬ果して然りとすれば朝鮮米輸出の標準は中流以下の需用に置かねばならぬ而して中流以下に於ける米の食用振りが斯の如くであれば此に相當する米を輸出する樣にすれば可いのであるが之は輸出業者の心得て置く可き事であらうと思ふ茲に一つ行つて見たいと思ふ事は、ニージニノーゴロツドの大市に朝鮮米の專賣店を設くる事である、ニージニノーゴロツドは世界的の大市場である、此市場には世界の物產が集る茲に專賣店を置けば汎く朝鮮米を廣告することが出來るのみならず隨分多額の取引が出來るであらうと思ふ、此專賣店を設くるにしても多額の費用を要する譯ではない若し其れ朝鮮の糯米業者が一致して行らうとすれば容易に出來ることである、朝鮮米の販路を大に擴張しようとするならば此位の努力もしなければ駄目だ、官憲の斡旋により官憲に資込むことのみ考へて居つては眞の販路擴張は出來ぬ、此點に於て吾輩は朝鮮に於ける米商の奮起を切に望むのである米の販路擴張と云ふ事は朝鮮の經濟問題に於て最も緊要の問題である、幸に隣邦露國に於て販路ありとせば當業者は鋭意此れが開拓に努めねばならぬ、然も今は之を努むるに於て最も好機會である(をはり)

金剛山より歸りて

釋尾旭邦

(承前)之を要するに金剛山の探勝遊覽を勸獎せないと言へば文句は言はないが、苟も鐵道局初め官署の側で金剛山探勝遊覽を獎勵する以上は今少しく交通機關なり其他の改善を圖り探勝遊覽者をして危險と不安と不便を訴へしめないやうにするのが一般急務であらうと思ふ、一度金剛山行を企てた人をして再びすべからずと思はしむるやうでは決して金剛山永久の繁榮策ではあるまいと思ふ殊に危險と不安と不便に就ては最も臆病なる西洋人を金剛山に引き附けんとするには一層改善の急務を感ずるのである、大に當局者の注意を喚起したい、無佛老兄より金剛山所感を注文であるが、金剛山の奇勝絕景に至りては余を以て觀れば少々誇張に失する嫌ありと思ふ位紹介されて居る、亦余の金剛山の山水觀は別に所論あり、其れよりは金剛山探勝策としての今日の急務は何より交通其他の設備問題が急務と思ふ、然るに今日迄金剛山其者の奇を說き美を唱へて之が遊覽探勝上の設備問題に論及したもの少くない、余は貴紙に於て特に此問題を提供し當局者の注意を喚起し、以て此名山をして最も安全便利なる探勝遊覽地としたいのである、是亦金剛山に對する一つの親切と思ふ、此名山に醉ふて歸途に就くもの多し、吾人が此行に於て [illegible] を擇ぶは [illegible] 一で足る [illegible] 其れには [illegible] 最も安全便利 [illegible] たい [illegible] 一緒に [illegible] の奇を探り [illegible] 同氏は更に內金剛に入り百潭寺、此處に吾々と別れ孤影悄然(一人)を連れ)溫井嶺を越ゆる勇み立ち吾々と別れ [illegible] 朝鮮人夫一人を連れ其夜から大雨となつたので或は途中で難儀を爲して居りはすまいかと心配した、溫井嶺を越え [illegible] 長安寺は平凡なる山麓 [illegible] 此大雨に閉ぢ込められ [illegible] 五日間籠城したことであらうと思ふ、二十日過ぎには歸京の豫定だと云ふて居つた、一日も速く氏の勇姿に接したいと思ふて居る(完結)

京日詩壇

○光州游草　魯石　成田碩內

上程

五月念八、曉起上程、鐵路向光州、出城門入綠陰村、樹杪仍挂殘蛸、塵風拂面、塵胸爽然、屈原所謂、有陶陶孟夏兮、草木莽莽、晌分紛寃、孔夫子兩處之詩、拈韻得一絕、

蛇蜿蜒過門。樹杪仍懸殘月痕。一路薰風白花香。笛聲吹入綠陰村。

評曰如讀行役之畫

水原

水原、往年、與松田學鷗故小野桔溪觀撫松大道寺遊久保田天南、俱遊杖之地、當時、西湖之畔、杭楯亭上、詩酒遊興、余傲然曰、

游魚日躍湖。行鷗波紋喚半形。乍看漁翁收釣去。嫣然一笑杜鵑亭。

車上追懷、堪懷昔之感乎

水原此地記曾遊。一夢回頭五箇秋。想鮮鰌羅漫西湖畔。客凭樓。

評曰當時余亦同遊、不堪烏兎匆匆之感

成歡

成歡、日清戰役交戰最初之地、車上遙望、恍見有殘壘留戰迹之狀、心竹爲之寒、悵然久之、

杜鵑啼過古戰歎。思昔年魂欲寒。殘壘依然留戰迹。不山香在白雲端。

評曰情景宛然

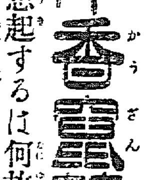
路入湖南線

至大田驛轉乘湖南線、湖南線、串通全羅南北兩道之平野、一路脩長、眼界已豁、而綫路未窮、翻輪轉之遲遲有緩于步之感、處湖之日已落、而車中倚橫人、窓外縱目、唯覩暮烟搖曳蒼色將至之將耳、

湖南通一線。千里渺茫中。嫩碧秧田水。晴黃麥隴風。行行日將暮。杳杳路無窮。何處光州是。雲沒眼界空。

評曰前聯清麗、後聯殊覺古雅、

葡萄酒と云へば何人も直ちに



蜂印香竄葡萄酒を想起するは何故ぞや？

蜂印香竄葡萄酒には醸造人の腕裏に徹底せる強大の特色あればなり

日く 品質精良!! 美味滋養!!

優良生葡萄酒を素とし補血強壯料を主成分として精製せる本酒は只朝夕一杯づゝにして血を增し肉を肥やし力となる!!

賣捌元 東京本町 近藤利兵衛

銷暑第一の讀物

長編講談

第十一編 荒木又右衛門 笹川繁藏 伴五郎 四六判每冊五百餘頁 口繪二葉挿畫八十餘個 ■正價各三十錢 送料一冊六錢小包料二冊八錢 三冊十二錢 四冊十二錢

木下藤吉郎　赤穗義士　岩見武勇傳　笹野名槍傳　伊達騷動　怪談牡丹燈籠　佐賀の夜櫻　天一坊　村井長庵　佐倉宗五郎　文珠九助　由井正雪　大久保彦左衛門　幡隨院長兵衛　羽柴筑前守　以上既刊以下續刊

最新刊 一、琴窓、講演

東京 博文館

防水布雨具

テント雨具は奥田式に限る

大阪市西區京町堀通式丁目

奥田商會

電話 長堀九〇三番 大阪三一七番

攝津國伊丹町字扇子町 奥田防水布工場

定價表無代進呈

朝鮮鑛業界空前の良著 定價壹圓貳拾錢

朝鮮鑛業要覽 附錄 朝鮮地質鑛產圖

本書の內容は朝鮮總督府鑛務課最新の調査に係り加ふるに現行の諸法規一切を網羅す鑛業家は勿論苟も朝鮮鑛業に志す人は何人も其一冊を座右に備へざる可からず特に朝鮮地質鑛產圖は鑛務課の專門技師數氏多年全鮮を踏査し心血を注ぎて調査したる精確無比の者にて未だ世上に發表せられたる事なき羅針盤なり讀者の御希望に依り附錄朝鮮地質鑛產圖(定價八拾錢)は分賣に應ず

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

品質の優秀は

宮內省御用酒釀造元 攝津灘新庄家 若林合名會社

絕對の信用を博し最後の勝利を獲得す

特約店 京城本町三丁目 山本富之助商店 電話五七五番

朝鮮銀行

第拾四期決算公告(大正五年上半季)

貸借對照表

負債	
資本金	壹〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
諸積立金	四參八、〇〇〇、〇〇
銀行券發行高	武九、壹七〇、〇壹〇、〇〇
仕拂手形振出高	[illegible]
政府預り金	[illegible]
諸預り金	[illegible]
支拂爲替手形	[illegible]
借入金	[illegible]
他店ヨリ借	[illegible]
本支店未達勘定	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	六九、七參參、壹壹五、武五

資產	
政府貸上金	七、五〇〇、〇〇〇、〇〇
定期貸	四、〇四八、壹九八、壹八
當座貸越	[illegible]
割引手形	[illegible]
荷爲替手形	[illegible]
別途貸付金	[illegible]
買入ケ金	[illegible]
掛金	[illegible]
公債及債券	[illegible]
他店へ貸	[illegible]
地所建物什器	[illegible]
新築費	[illegible]
外國貨幣及手形	[illegible]
地金銀	[illegible]
金銀有高	[illegible]
合計	[illegible]

損益勘定

一金武百六拾八萬參千八拾參圓拾九錢 當期總益金

一金武百武拾萬參千壹百九拾四圓 [illegible] 當期總損金

差引 金四拾七萬九千八百八拾八圓九拾錢 當期純益金

外 金壹錢 前期繰越金

金四拾七萬九千八百八拾八圓九拾壹錢

內

金七萬圓 損失補塡準備金

金壹萬圓 配當平均準備金

金參萬參千六百圓 役員賞與金及交際費

金參拾萬圓 配當金(年六分)

金五萬圓 再配當金(年壹分)

金拾壹萬八千武百九拾七圓四拾錢 後期繰越金

合計金五拾八萬壹千八百九拾七圓四拾錢

右之通ニ候也

大正五年八月

朝鮮銀行

總裁 勝田主計

理事 水越理庸

理事 三島太郎

理事 木村雄次

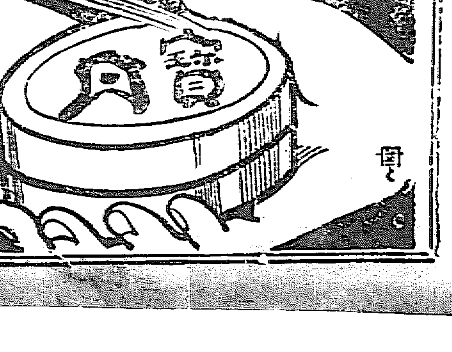
監事 伊藤長次郎

監事 服部金太郎

前記各項ノ調査ヲ遂ケ其ノ正確ナルコトヲ認ム

夏の旅行にも ▲執務にも ▲家庭にも ▲外出にも 缺くべからざる

守田の寶丹



朝夕缺さず一匙二匙服用せば ▲頭痛眩暈 ▲船車酒の醉 ▲食傷水あたり ▲氣附毒消 ▲下痢腹痛 其他惡疫を防ぎ日射病に罹る事なく無事安全

定價 金拾錢・廿錢・卅錢・五拾錢・壹圓。卅錢以上は優美なる寶丹匙を添ふ

東京下谷池の端仲町廿七番地 守田治兵衛 振替東京二九八五 各藥店に販賣す

林公使愈々抗議
我政府斷乎たる處置を執らん

林公使は鄭家屯事件に就き十五日午後外交總長並に陸軍次長と會見し支那軍隊の暴行に依り日本軍に非常なる損害を與へたるに對し日本は斷乎たる處置を執らざるべからずと警告を與へたるが陸軍次長は右に對し支那政府の報道が日本側の報道と異なれるを指摘し且つ日本軍が今後鄭家屯に軍隊を輸送するを一時中止せん事を要求したるも林公使は之を拒絕し先づ支那軍隊側が日本軍隊を包圍せるを解くべしと述べたり尚公使は十五日夜外務省の訓電に接したるを以て改めて今明日中に再び外交總長を訪問すべし（東京特電）

張奉天督軍の憂慮

張督軍は鄭家屯事件の將來を非常に憂慮し直ちに責任者なる第二十八師騎兵聯隊長湯德生を馘首し此の際如何なる犧牲を拂ふとも日本の憤怒を解かんとし寢食を忘れて之れが善後策を講じつゝあり（奉天特電）

日軍包圍解除命令
支那政府より張奉天督軍へ

支那政府は十五日夜奉天督軍張作霖に訓電を發し鄭家屯に於ける支那軍隊に命じ日本軍の包圍を解かしむべしと命令し張督軍より十六日朝承諾の返電到著せり（北京特電）

精兵四千を提げて殺到
革命黨大擧奉天を衝かんとす

鄭家店附近に現はれたる蒙匪軍は精兵四千、馬匹、駱駝六千を有し肅親王の第七子を擁立し陣容堂々次第に殺到して鄭家店を占領し又附近の革命黨は同地を根據として大擧奉天を衝かんと計畫中なり（奉天特電）

鄭家屯事變死傷者

陸軍省公報＝鄭家屯事變に於ける我が守備隊の戰死及び負傷者左の如し（東京特電）

▲戰死者
歩兵軍曹　山藤忠七
同　間野定一
同　降旗茂一郎
同　山森讓一

▲負傷者
歩兵中尉　松尾彥治
歩兵軍曹　梅山健一
同一等卒　萩野信次
同二等卒　及川李之助
同　阿部源次郎
同　近藤兼七
同　近藤修三
同上等兵　市川誠一
同一等卒　後藤重之助
同　市村銀太郎
同二等卒　榎本益雄

討伐軍出動と總司令

蒙匪軍の勢猖獗を加ふるより第二十師は北京より歸りて京奉鐵道守備に任じ第二十八師は悉く出動すべく馮德麟は征蒙總司令として出征すべしと（奉天特電）

支那兵士の蠻行

鄭家屯に於ける日支兩國兵衝突の結果我負傷兵にして遺棄されたる者支那兵の爲め慘殺されたる形跡あり（東京電報）

軍隊出動

陸軍省公報に依れば我混成中隊は十五日夜八面城に到著騎兵聯隊は十六日朝三江口に向ひ歩兵大隊は同日四平街に向へり（東京電報）

政變に關係無し
寺內總督の日光行

寺內總督は十六日日光行在所に伺候したる事は既報の如くなるが總督伺候の用向は今回李王世子殿下の御慶事に就き李王家より御禮傳奏の爲め李王職長官閔丙奭子上京し來りたるを以て同長官同伴天機を奉伺し後皇后陛下の御機嫌を奉伺し猶鷹司侍從長と會談したるまでにて毫も政變に關係なしと云ふ猶總督は十七日午後閔長官と共に歸京せり（東京特電）

大阪より

[illegible]山城國宇治郡[illegible]

京都府當局は大に憂慮しつゝあるが其の結果は確實に期待する能はず日本玉蜀黍の全滅を見るに至るべし[illegible]

[illegible]たるも近時倚ほ肚不味を呈し居れるを以て過般前記四社共に五十錢方の值下を發表したりと

[illegible]あらせられ海相、船政局長技術本部長等參列の上擧行する筈なりと（大阪電報）

[illegible]支出方を命令したりと（長春）

[illegible]黑龍總督府に撥發二萬五千留の[illegible]立し匪賊來襲の虞れあれば昨今衞隊二百名を附し內四十名は火藥分庫に架設す可く決定し目下交涉中なるが右は計畫中なるが右は豪匪及び宗社黨等[illegible]

[illegible]方の衰微を憂慮せしかどそは眞に杞憂なりしことなり今は漸次人口も增加し幹事として親和の連鎖地方開發の鍵鑰として流痒する處多し[illegible]

上原總長奏上

上原參謀總長は十七日朝上野驛發列車にて日光田母澤御用邸に伺候し聖上陛下に拜謁仰せ付けられ今秋擧行す可き陸軍大演習の計畫に就き委細奏上する所ありたり（東京電報）

共通法規成る

內務省の立案に係る殖民地共通法規は既に脫稿したるを以て不日內閣會議に附せらる可し（東京電報）

行賞不日發表

文官及び兩院議員に對する論功行賞は愈々來る廿一二日頃發表さるべし（東京電報）

白水參謀長出發

白水軍參謀長は豆滿江沿岸視察を中止し十八日出港の宮島丸にて南行すべし（清津特電）

前年朝鮮漁獲

前年度朝鮮漁業者の水揚せる種別中其主なるものを擧ぐれば左の如しと　鰮百七十四萬四千圓鯖百十七萬八千圓石首魚百十七萬五千圓鰈九十一萬五千圓明太魚八十六萬九千圓鯛七十八萬五千圓鰤四十四萬五千圓以下三十萬圓臺に屬するものは鰕、大刀魚、和布、鱈、二十萬圓臺鯨、鮐、石花菜(テングサ)、鰊、海蘿、十萬圓臺鯔、鰆、牡蠣、玉珧貝、鮹、鮑、蝦、鰤、鯖、貽貝、海鰻

牧馬事業進捗

總督府の經營に係る江原道洗浦牧場にては先月來種牝舍五十坪のもの一棟放牝舍百坪のもの一棟並に事務室の建設を急ぎつゝあるが今秋竣工すべく又十月頃迄に本年度計畫に屬する蒙古馬卅頭を購入入舍せしむ可しと

鑛業出願件數

八月一日より十六日迄に於ける鑛業出願件數は百九十九件にして金砂金黑鉛鐵等最も多く殊に黑鉛並に鐵は先月以來激增の姿なるが重石は漸減の傾向なりと

价川輕鐵の業績

新安州价川間の運輸經營を爲す价川輕便鐵道八月上旬の成績を聞くに乘車人員千四百九十五人、小手荷物斤數千二百八斤、貨物噸數千三百五十七噸、客車收入四百五十五圓〇七錢、貨車收入八百八十五圓四十錢、運輸總收入千三百四十圓四十七錢、一日一哩平均七圓二十八錢四厘にして前月に比し客車收入に於て五十二圓七十錢、貨車收入に於て百二十二圓五十錢、運輸收入に於て百七十五圓二十錢の增收なり

咸北牛疫終熄

咸鏡北道豆滿江沿岸訓戎に牛疫發生七頭の罹病牛を出せし事は既報せしが其後道當局にて防疫に盡力せし結果蔓延の徵候なく全く終熄せる模樣なりと

仁川貨物吐量

七月中仁川港に於ける輸移出入貨物の吞吐量を聞くに輸入貨物十萬五千三百個一萬七百七十七噸移入貨物十萬四百三十個一萬三千六噸鐵道連帶輸移入貨物一千五百六十七個三百九噸輸出貨物四萬四千三百九十四個三千七百十二噸移出貨物五萬三千三百二十個六千百五十五噸鐵道連帶發送內國貨物二萬五千九十六個二千八百八十三噸發送運送內國貨物二千七百九十六個二百六十四噸陸路運送貨物九千六百五十四個一千二百十一噸海路運送外國貨物二百五十七個四十一噸保稅倉庫入貨物一千六百九十八個百三十九噸保稅倉庫出貨物二百七十三個二十七噸計三十四萬四千七百八十六個三萬八千六百十六噸にして前年同月計二十七萬六千八百十五個三萬八千三百十七噸に比し個數に於て著しき增加を示し噸數に於て大差なきは本年は米吸の逆移入多かりしに基因すと云ふ

實に主權の侵害也
輕視を許さず强硬たれ
秋山參事官談

▲問題の經過　今回突發した鄭家屯事件は未だ其の精確な經過と內容を承知せぬが要するに開放地の鄭家屯若くば開放地外に於て何故か邦人が支那官憲に拘引されたのを吾が領事館の某巡査が法によつて其の引渡しを請求に行つたけれど支那側は直ちに其要求に應ぜず不穩の模樣があるから巡査は引返して吾が守備隊に應援を要求した、そこで一隊の兵士が巡査を護衞しつゝ先方に向ふと支那兵の多數は吾れに向つて發砲し玆に一の小戰鬪を惹起したものと見て差支へなからう

▲事件は重大　如上の經過に多少の差があつても要するに陛下の軍隊を代表し國家を代表する吾が一隊の軍隊に向ひ支那の國家を代表する軍隊が突如發砲し銃火を逆つたので實に主權と主權が相衝突した非常に重大な問題である、支那軍隊の發砲が故意であれば一層重大となり又故意でなく誤まつて銃火を逆つたとしても支那の主權が日本の主權を犯したと云ふ事に何等の疑點を挾む餘地はない、帝國の一官廳たる在外領事館が襲はれたとか、個人若くば一個の軍人が支那軍隊の爲めに難に遭ふたと云ふやうな事とは其の性質に於て天地の隔たりがあり、土匪が强盜ふ、又之れを支那馬賊若くば强盜の所爲と比するも其間雲泥の差があるのである

▲態度强硬なれ　宜しく帝國政府は嚴重な交渉を支那政府に致さねばならぬ、問題は地方で起つたのであるけれど、性質が上述の如き重大な意味を含んでゐる以上奉天支那官憲の謝罪の如きは受付くべき筋でない、乃ち支那の國家を代表した駐日公使が吾が政府に謝意を表すべく其際は問題の突發せし原因が支那軍隊の誤りより出たものならば其の事由を明らかにし又故意に發砲したものとすれば地方駐屯軍隊の暴擧を謝した上嚴重所罰の意を明示せねばならぬ、然し謝罪は謝罪とし別に相當の損害賠償を要求すべし、此の損害賠償は個人々々の弔慰金とか損失などを細々計上せず主權に對する損害賠償をきく求め更に何等かの代償若くば權利を獲得してよい、そこは國際談判に待つのだが吾謂などは今後の保障の爲め十分吾が態度の强硬ならん事を希望する次第である

石塚長官一行

金剛山に於ける保安林狀況視察のため出張中の石塚農商工部長官は十八日歸任すべしと

羅南軍營工事

羅南軍營官舍工事は三工區に分ち起工しつゝあるが何れも既に基礎工事を了し七月上旬から家屋建築工事に着手し居れるが其々進捗を見たり而して本年度工事は全般の上より見て作業力充分なるも建築材料の運搬に時日を要する結果幾分の遲延を免れざるべき模樣なるも第二工區の如きは遲くも十一月上旬迄には竣成を見るべき豫定也

保護牛と保護方法

優良牛の保護蕃殖を目的として制定公布されたる朝鮮保護牛規則は本月一日より實施されつゝあるが今其保護牛に關する其筋の實施方法を聞くに牝牛八十頭に對し母牛一頭の割合にて優良なる種牛を保護し母牛は一頭に付一箇年十圓乃至十五圓其他の牝牛及び犢に對しては五圓六圓又は三圓の保護料を個人飼養主に給し之に要する經費は屠殺牛一頭に對し屠殺稅五十錢以內を增徵する事として之を地方費に繰入し地方費より支出するの制とし各道は之を本月一日より實施しつゝありと

咸南鑛業調査

平壤鑛業所技師吉川岩喜氏は鑛業調査上の要件を帶び十六日より咸南地方へ出張せりと

慶北海藻收益

釜山海藻檢查所の調査によれば七月中慶北浦項には一萬三千五百斤(一等品)五千三百四十五斤(二等品)九龍浦千五百斤(一等品)浦項は銀杏草四千三百四十五斤總計一萬六千三百四十五斤を採集し之に六月採集一萬四千七百五十斤を積算すれば三萬一千九十五斤となり百斤平均十九圓の相場を持續しをれば本年中には總額六萬圓以上の收益ある可しと

七月中の慶北漁獲

慶尙北道に於ける本年七月中漁獲狀況を聞くに鰮、鯖、鱈、鰈、鯛、鰆、鯇、平目等魚貝海草類其他にて之れが總額三萬五千五百八十三圓にして尙本年一月より同月までの累計は五十萬零六千百十九圓に達せりと

京畿道學校組合豫算

京畿道管內一府二十郡に於ける學校組合戶數は二萬二千八百九十五戶あり而して人口八萬五千二百六十六學校生徒數一萬零三百九十五人を有せるが大正五年度に於ける學校組合豫算左の如し

▲歳入

經常部	
賦課金	十九萬六千五百七十六圓
授業料	六萬五千二百四十六圓
墓地火葬場使用料	八十圓
屠場使用料	八千四百九十四圓
督促手數料	千二百五十七圓
其他收入	三萬五千四百六十六圓
合計	三十萬七千百十九圓
臨時部	
繰越金	九千七百九十五圓
寄附金	五千五百四十二圓
國庫補助金	三萬千百八十八圓
地方費補助金	八百三十三圓
其他收入	五千六百七十九圓
合計	五萬三千三十六圓
歳入總計	三十六萬零百五十五圓

▲歳出

經常部	
事務費	二萬四千四百四十九圓
會議費	一千七百卌七圓
教育費	二十四萬二千三百七圓
墓地及火葬場費	五十圓
屠場費	二千九百四十二圓
其他の支出	三萬三千四百八十二圓
合計	三十萬四千九百六十八圓
臨時部	
事務所費	七百九十二圓
教育費	一萬九千五百十六圓
墓地及火葬場費	百四十七圓
屠場費	五百六十圓
寄附及補助費	一千二百圓
組合債費	二萬六千七百一圓
其他の支出	六千二百七十一圓
合計	五萬五千百八十七圓
歳出總計	三十六萬零百五十五圓

京城學校組合會議

京城學校組合にては前年度決算並に本年度追加豫算(小學校新築費)等の件につき組合會議を開く筈にて期日未定なるも月末頃開會の運びに至るべし

人事消息

▲齋藤龍三氏(忠北第一部長)　十七日夜入京木浦へ
▲木村林次郎氏(三菱兼二浦製鐵所長)　十七日夜入京朝鮮ホテルへ
▲中內啓二氏(香川第七十九聯隊附大尉)　十七日夜入京旅館へ
▲三浦彌洋氏(鎭海)　十七日夜金剛山より歸壹

南言北語

天氣が定まると▲イヤ著い事つたらない朝から冷汗が湧く何にかスーッとする樣な事でもあり相なものだお何處も著い事許り▲著いと云へば尾崎法相が輕井澤でテオドラ夫人と馬を並べて歩くと▲夫人の丈高く美髮の麗はしきに引換へ法相は短軀蒼顔頗る振はぬ▲其れと知らぬ通行人は此の夫婦連の姿を眺めて▲あの通譯さんは能く出掛ねには流石の法相も苦笑一番▲慶軒諸者の高木兼寬男は儀式以外は帽を被らぬ▲處が近頃になつて頭の禿の半地へボツ／＼黑い毛が生ねて來たから『之れ見給へ此の通りだ七十歲になると禿がなくなるかも知れぬ』と誰を捉ても大氣焔▲例の運賃問題で上京中の大連代表者が一日大隈首相を訪問して縷々陳情に及ぶと▲首相グイと一文字に結んだ口を開いて『諸君の希望は充分に貫徹させうよ』と大呑込に呑込んだので代表連は大喜び▲次に鐵道院に出頭して添田總裁や大園局長に面陳すると▲『愼重審議の末決定したものだ君等の運動の爲に今更變更は出來ぬ一體三線比例運賃の趣旨は何處にあるか御存じならば承りたい』と逆襲を受けオヤ／＼之れは小々勝手違ひだぞと引き下り▲某政客に始末を語ると大隈侯の安請合が何で當になるものか其れは添田總裁の云ふのが實際だと言はれて一同ヘエー……

龍濟光の罪跡露顯
一千餘萬の財產を私す

十六日總統府側に達せし廣東龍濟光罪跡調査の結果左の如し（北京特電）龍は帝政取消當時臺灣銀行より三十六萬元を引き出し香港に送りたるが此の金は官金なり又約六百萬元に相當する阿片を觀音山砲臺に隱匿しあり龍の部下は二萬乃至三萬人と稱するも其の實一萬餘に過ぎず而して在職三年間に一千餘萬の財產を作りたるが此は官金にして兵數を欺罔して此の巨額の金を作りたるものなり

日韓書房　新版報告
臨時產業界刊　工場法の運用　定價七十五錢 送料十二錢
下田次郎著　母と子　定價七十五錢 送料十錢
種子蘇堂著　投入花の栞　定價八十錢 送料十錢
山崎櫻岳著　巨人南洲　定價七十五錢 送料十錢
小野名人講評　古今將棋 手合　定價八十五錢 送料十錢
京城本町二丁目

直輸入　土木建築　金物商　諸官衙御用達
京城本町一丁目　佐野彥商店　電話一六三番

海員募集
千代田生命相互保險會社代理店　名古屋明商株式會社代理店　日本石油特約販賣店
最新の航海に關する學術を教授し卒業者は各汽船會社へ直に就職せしむ四ヶ月卒業會費二圓四拾錢　規則進呈　東京芝愛宕町帝國通信航海學校

資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百六拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目（電話番號京城一一二番）
頭取　佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

うきよ　九月號　四卷　出
覆面の美人　花の如き美人
深夜の四條河原に忍んで惡漢の首を梟す妖艶の彼女果して何者なる？
殺人團に狙はる彼女の行衛何處？
風前の燈火よりも更に危し美人宮本くら子
其他赤ん坊が四十女の許で泣くと怪奇の探訪等數種は物凄く東京深夜探險は外の事件あり絶好讀物
樂文社

信濃電氣株式會社精製
カーバイド　青光線　赤光線
當分青光線印のみ輸入仕候
右特約販賣に付大勉強仕候間多少共御用命奉願候
サクラビール　南鮮特約店
福榮商會　釜山港辨天町

東京製鞄　旅行用具一切

ゴム引マント　防水布外套　マント色々
魔法瓶　中瓶取替
洋傘
卸小賣　高木商店
京城本町一丁目電話一三四番

眼科　內科　小兒科
京城黃金町三丁目赤門通（電話二四四三番）
本田醫院
院長　本田建義
入院隨意

……に努め……しお昨年第二度目のスタンダード、アングロサクソン、日本石油、寶田石油の各社にては值下を決行……化し營業を害する事甚だしく

……所に於て建造中の超弩級戰艦……（三萬六百噸）の進水式は十一月十二日御名代東伏見宮依仁親王殿下台臨

……報の如く募成公司を設けて多數の支那勞働者を募集し……に輸送しつゝあるが之れに對して政府は

……現し多……となるを常とするに目下……討伐の爲め同局は晝夜兼業劇忙を極めり尚同局は省城東南の地に還……

支那政府は西北各地方に於ける軍事交通上の警備を計る爲め山西、陝西、甘肅、新疆、伊犁各處に無線電信を……（十六日北京）

河陽

……河南大發展す……河陽……方都市の……なるもの組織され……七月以來此地に河陽……氏……に出で今や河陽を永州に至る鉄……上の地點に進め……

野趣五題（一）

鮮島模範農場

秋風は葉裏かへして青玉の林檎のはだに生をはぐくむ

◉三十機 肥筑の野を征せん

航空隊の壯擧＝今秋大演習の偉觀

今秋九州に於て施行さるゝ特別大演習に參加す可き飛行機は前年の約倍數にて合計二十五臺乃至三十臺にも達す可く所澤飛行場及砲兵工廠にて作製を急ぎつゝあり此操縱將校として目下原隊に復し居る第二期生內藤中尉以下四名第三期生岩富中尉以下九名第四期生加藤中尉以下十一名は九月中旬入隊し豫備飛行を開始する筈なりと

▲空中觀測將校新設　今期陸軍の空中偵察並に觀測修業員として所澤航空隊に分遣を命ぜられたる將校は左記十名にして其中空中觀測將校なるものは今年始めて設けられたるものにして修業期間は一箇月とし八月十五日所澤入隊同日より直に練習を開始する筈尚觀測將校の練習は所澤にては稍不便なるを以て其半數は千葉縣下志津に出張せしめ同所の野砲兵と連絡を取り修業する由（東京電報）

▲空中偵察將校　△騎兵大尉林命秦（教育總監部）△砲兵大尉多田禮吉（參謀本部）△步兵大尉佐野光信（同）△步兵大尉笠原府雄（同）△騎兵大尉丹松尾（騎兵一九）△砲兵大尉岡部直三郎（砲兵廿）△步兵大尉後藤啓三（步兵三九）△步兵大尉岩下信太郎（步兵四五）
▲觀測將校　△砲兵大尉山室宗武（教育總監部）△砲兵中尉早尾駿子雄（同）

●斷じて虎疫の入るを容さず

▽朝鮮關係地に續々發生
▽朝鮮防疫當局の警戒益々峻嚴

▼總監部の活動

內地に於ける虎列剌發生に亞ぎ更に大連にも虎疫發生の報ある等是等各地と密接の關係を有せる朝鮮に於ては最早早晩同病の侵入を覺悟せざる可からざることゝなりたれば總監部衞生課に於ては十五日各道廳に對し其々

▽豫防方法の通牒を發したると共に各港灣の檢疫を嚴にし入港船舶に對しては一々嚴重なる檢査を行ひ若虎列剌發生地寄港船又は途中疑問の患死亡者を生じたる船舶には五日間檢査を施行し又關釜聯絡船等には警察官を乘込ましめ乘客の健康に注意すると共に發著地を質し若し

▽危險地域を通過し來る者には相當の方法を設けて檢病する筈にして今や同課は殆ど全力を擧げ防疫に努めつゝあり今回各地に發生せる虎疫の傳染系統に就ては未だ的確なるもの無しと雖も斯れ恐らく南洋方面より來りしものなるべく依て其筋に於ては比律賓香港

▽上海方面より來る船舶に對しては特に嚴重なる注意を拂ひ居れども目下同方面との交通船は唯に鎭南浦中村組の香港上海航路船あるのみなりと云へるが當局の最も恐るゝ處は南鮮海上には絶えず內地より出漁を爲す者尠なからず是等は慨ね漁場より直に歸國するを以て若し之等漁船に發病者あらんか其害毒の及ぼす所蓋し恐るべきものなりと

▼長崎猖獗

市隔離病舍滿員　十七日迄に二百

長崎地方の虎列拉は其後增々猛烈なりその傳播力頗る急にして十二日午後より十四日午後に至る新患者は五十名に達し十四日正午には合計百十名を數ふるに至り

▲市民の恐慌非常　各方面とも甚大の打擊を蒙りつゝあり患者の九割は下層民なれども其發生地は市內各所及び市外にては西彼杵郡野母脇岬深堀茂木小ケ倉北高來郡湯江五島の各村に及べり港內にては九州汽船千賀丸水夫一名發病し乘客五十三名は女神檢疫所に隔離し船體は船員十七名と共に女神沖に隔離せるが市避病院は既に滿員の姿にて

▲自宅療養を爲しつゝある者ありて危險此上なし尚又十六日夜五島より歸航汽船康安丸の船客一名虎列拉發病し爲めに同船は五日間の消毒停船を命ぜられたり、十七日正午迄で長崎縣下を通じて虎疫患者累計二百五名に上り又昨一日にて新患者三十三名を出せり尚病毒郡部に蔓延し五島玉の浦にも患者を發生せり（長崎特電）

□登攀御中止

東久邇宮御歸京

日本アルプス御跋涉の途に上らせられたる東久邇宮殿下には鎗が岳絶頂を極めさせられ白馬山御登攀の筈なりしも附近に傳染病患者發生の爲め御中止となり十七日午前六時上野驛著列車にて隨員を隨へさせられ御歸京遊ばされたり（東京特電）

▼下關にも發生

陰性の疑ひあり

下の關にては水上巡邏船をして嚴重警戒中なりしが十五日朝突如として市內壇の浦に虎疫發生せり患者は市內壇の浦町三十四番地船夫百合松妻尾畑きく（四二）にして十二日夜夕食の副食物として南瓜の煮冷ましを食し夜に入りて劇しき腹痛を覺えたるのみならず續け樣に下痢及び吐瀉を爲せるより十三日午前十時に到り醫師の來診を乞ひしに不審の點あり再診……

▼仁川防疫勵行

碇泊汽船の臨檢

仁川署にては仁川と密接の關係を有せる大阪神戸に虎列剌患者發生し其後長崎及大連にも疑似患者發生したる旨其筋より通牒に接したるより直ちに同地方より來航せる汽船に對し內港及び夜間檢疫を一時廢止し帆船漁船等も嚴重注意し尚碇泊中にあるものと雖も絶えず臨檢し乘組員の健康狀態を視察し苟も下痢若くは吐瀉患者疑はしきものを發見したる場合は期を逸する事なく報告すべく極力防疫を勵行しつゝあり（仁川）

◆小高の子供の名は何こ……

昔の朋輩藝妓が取り次いだ難問題

圖花月の小高と言へばまだ其名で京城の何處に行つても通る位に最近迄、廓に籍して洛の席取に侍してゐたのだから、今では聊かお差しあひもあるか知れないけど其儘の名で呼ぶ事にして其小高に就て困つた話があつた

圖昨今頻りに易斷で京城人士の相談相手をしてゐる小玉香象が此前入京した時――大正二年の秋、去る座敷で一緒に成つたが、何かの話から小高が「お前でお出來なれる樣な事ですけど出る者が出ないでもう六箇月も困りぬいてゐます何とか成りませんか」と云ふ謎

圖流石は香象居士に一鑑識さへた……本が四方を閉されて……筈のものが出ないのだから、方法が無ければならぬ何さかして上げやう』と早速算木をまさぐるさア、ラ不思議や、弘法大師の杖に掘られた高野山の岩山とは較べにもならないが其翌日から小高は出るものが出た悦びに蘇生つた。――と云ふ事は其頃可成り評判の話であつた。

圖其後香象はアメリカに行つて……見たり……小高ではなくて……名に就て……

成つてゐた

圖處が或日巴城館の一室、床を背に筮竹、算木を前にした香象の面前に揃たる美人が現れた。お是は昔て小高と枕を並べた其妓であつた。其女の口から……は悟く／＼と小高の話が出て其後頗る丈夫になり去る十三日其の樣な男の子を生んだが是れも何かの因緣、一つ名を附けて遣つて下さい……

圖香象の曰く……筈のもの……出なかつたのは私で……[illegible]

◉妻を殺して自分は咽喉突

氣紛れ刃傷か

去る十五日午後八時過沙里院居住神保某が同地元氏家病院前の道路にて自分の妻某を鋭利なる出刃庖丁にて滅多斬りに即死せしめ

▲自分も我家に引返し他の刃物にて咽喉を突刺し虫の息になれる事件あり此の加害者たる夫神保某は以前同地廣川新聞店の配達夫を爲し居たる者なるが先年青島に渡りしも別段思はしき事も無く十日程前沙里院に舞戻りたるも之れ亦面白き仕事なきより十五日には內地へ引上げんとし同日も妻のお何は髮を結ふやら下駄を買ふやら

▲出發の準備も濟し早や出發時刻を待つばかりなりしに夕方何かのことより夫婦喧嘩を始めて遂にかゝる慘劇を演ずるに至りしものに……

◉死に損ねて懲役七年

本年三月二十一日夜京城永樂町二丁目飲食店淸樂事中村ぬい方に於て佐賀縣小城郡別府村生れの木櫛職松本利市（三）が內緣の妻にして淸樂の酌婦山口縣大島郡日良居村生れの瀨ふみ子事下川よし（三）を同家表三疊の室に於て鋭利なる刺身庖丁を以て前頭部動脈を切斷して即死せしめ同時に自分の頸部を掻き切りて自殺せんとしたるも急所を外れ遂に腹を文字に八寸許り斬り裂き苦悶中を手當に依り遂に平癒したる殺人事件は八月九日京城地方法院に於て塚原裁判長、石村陪席判事、野村陪席判事、水野檢事立會ひの下に公判開廷審記水野檢事論告の末懲役十年を求刑したるも十六日懲役七年の判決言渡ありたり

◉愛と情を衡器に懸けて

不實男の實子殺

京畿道水原郡水原面南水里李貞實（二六）は昔て遊姓女を妾として革成と稱する男兒を擧げたる後事情ありて離緣したるも革成は遊姓女が獨身にて養育し居れるより革成が成長すれば自然子の愛に引かされて再度遊姓女と同棲せざるを得ざるに至るやも計り難きを憂慮し寧ろ革成を殺害して絶緣せんと決心し明治四十二年舊正月二十五日頃義弟に當る朴昌根をして砒石を買求めしめ巴姓女の居宅に來りたる際同女の隙を窺ひて革成に砒石を飲ませ遂に同年舊二月六日死亡するに至らしめたること此程發覺し李は水原署に檢擧せられ京城地方法院の公判に附せられたり

□無分別の同行三人

去る十五日夜釜山發の聯絡船高麗丸が將に出港せんとする間際に至り三人の怪しき鮮人が乘込みしより棧橋派出所巡査が右鮮人を取調べしに此者は慶尙南道密陽郡河南面朴守浩（三）仝金海郡下界面辛英守（三）同二北面朴漢根（三）の三名にて何れも數十圓宛親の金を盜み內地に至りて大に成功せんとせしこと判明せしかば懇々其の不心得を諭し十六日午前發の列車にて鄉里に歸らしめたり

◉娘釣の餌は花婿

料理屋夫婦の婦女誘拐

京畿道長湍郡長南面高浪浦居住の張圭植（三）は妻福姓（三）と共に飲食店營業をなし居れる內共謀の上六月二十九日京城に來り通洞宋兒其（三）に對し自分等の養女になれば善き婿を世話してやるとて巧みに欺き同女を長湍に連れ行き自宅にて密淫賣を強ひたる上某に賣却せんとしたること發覺して檢擧せられたり

◉間島地方大旱魃

間島渾春地方は二箇月に亙る間降雨なく旱魃にて作物半は枯死せるが近日中に降雨を見ざる時は被害愈々甚だしきを以て農民は痛く悲觀し雨乞を爲し降雨を祈り居れり（淸津特電）

◉生活難から縊死

京畿道安城郡瑞雲面靑龍里吳敬仲（六四）は生活難を苦慮し八月十日自宅同里の丘上なる高さ一丈位の栗の樹に木綿紐をかけ縊死せるを發見し安城署より係官出張檢視の上屍體は長男吳善に引渡せり

◉梶棒に觸れて

京城本町三丁目某雜貨商店員大庭賴保（二）は十六日午後六時半頃李埈公邸附近を自轉車にて疾走中折柄前方より來合せたる李埈公殿下御乘車の車體に衝突して梶棒に觸れ左胸部を打ち目下大和町濟春堂醫院にて加療中

◉毆つて罰金三圓

平安南道价川郡价川面東邊里十一統三戶酒商李建根（三）は同里李卓碩方に於て飲酒中同里金昌史（三）と痴情の事より口論の末金昌史の面部を數回毆打したるのみならず表道路に引ずり出し打つやら踏むやら遂に三週間を要する傷害を與へたるより被害者より价川憲兵分隊に告訴され八月十二日取調の結果罰金三圓に處せらる

◉淸涼水に注意

仁川市內に於て近來販賣されつゝある各種の季節淸涼飲料水中には沈澱物又は腐敗せるもの頗る多く其筋に於て檢査の結果不良飲料水として流棄を命ぜらるゝもの一日平均四五十件を下らざる狀況なれば一般に注意すべしと

◉賴まれ時計を橫領　京城南大門通五丁目金來植方同居擔軍業奉吉（二〇）は七月七日永樂町にて某婦人より銀側懷中時計一個の入質方を依賴されしが之を橫領して蓬萊町一丁目の某方に賣却したること發覺して本町署に引致さる

◉旅館ご露店の科料　仁川府內里旅館業韓禹根（五）は屢々其筋より注意を受けたるに拘らず其他臭氣發散の場所に防臭劑を撒布せざりし爲め科料二圓に支那町高士叔（三）は去る十五日海岸道路に無屆にて露店を開きし爲め科料五十錢に何れも即決處分に渡さる

◉香象氏の滯京期　入京中の小玉香象氏は愈々十八日迄滯京の上十九日仁川に到り廿日夜發北上の事と成れりと

◈井口將軍和歌の由來

『日比谷雀に蚤と蚊と蠅』

圖軍人と云へば大抵は難かしい漢字を並べて詩と云ふものを作るが、龍山の司令部に行くと井口軍司令官の和歌と井出經理部長の新作和歌とが異彩を放つてゐる、と云ふ事は京城日報を讀む人の大抵知つてる事だ、某記者が先年軍司令官室に罷り出た或日、軍司令官が新聞記者を愛撫する事も世間には知れ渡つてる事だが何かの話から某記者は『閣下は大抵和歌に御堪能であらつしやるが何時からお初めに成りました？』と問れると大正元年からだ、『へ、處が大正元年と云ふ答が何だか異樣に聞こゆるので其理由を更に押返して何へば將軍の曰くが頗る興深い。

圖明治四十五年七月三十一日は日本國民として忘れ樣としても忘れる事の出來ない納日で天下臣民は悲觀に襲はれ神州鬼哭の氣國內に滿ち盈ちたが、其悲愁哀悼の國民の誠意が和歌と成つて新聞や雜誌に頻りに發表される共處に將軍は不圖氣が付いて、自分もやつて見やうと思ひ付いたが別に師事する人を求めずに將軍は明治天皇の御製に師事する事にした、そして今日に到つたのであると云ふ。

圖「と聞いて見れば成程」明治天皇が御師匠で大正元年から始めたと云ふ事に成る。

圖餘り公表もされないが、將軍は又狂歌が巧い、例へば、と云つて將軍の示される舊作に曰く

我が敵は三文肥者に直似文士日比谷雀に蚤と蚊と蠅

その敵の目安を何と人問はゞ國家社會に害毒を流す奴

と云ふので、此狂歌の敵中の大敵として將軍の最も嫌忌するのは蠅で、書く時には特に大字を用ひ詠歸する時には蠅を大きくするのである、其理由は將軍の蠅に對する精細な調査及び觀察意見は餘り長くなるから後日に讓るが

圖將軍が暗に『學生～三文肥者となる勿れ』の意を含めて和歌の間に狂歌を附加した處は流石大學校長として後輩を薫陶した教育的精神が含まれてゐるから面白い。

◎書籍案內◎

蒙古通誌
帝範臣軌 國字解
太陽萬年毛筆
附圖品鑑標
同スクリップ
最新漢和辭典
漢學速成
奴內藏儀
漢學雜話
トルストイ
法然上人

京城日報社代理部　京城太平通壹丁目

◯御大典後一次天長節祝日
奉祝俳句募集（五千句集）
選者　共角堂八世寶夢齋 京城 實仙居一雅宗匠
題　天長節。菊。桐の實。千鳥。稻。雁。紅葉。虫。露。秋風。芭蕉。肌寒。神の旅。鹿。山茶花
入花料　壹句に付金壹錢（郵便切手代用不苦）投句數無制限
締切　大正五年九月二十日限り
同　年十月三十日
卷開
景品　天地人 各壹圓の物品及短冊 五十位迄 各廿錢の物品及短冊 五十一位以下 各壹個宛及短冊
申込所　京城本町三丁目廿二番地 蕉風會幹事仁科一郎宛
附言　投句者は現住所氏名及び雅號を明記せられ度き事 左十句以上の投句者には卷寫しを印刷の上進附す
主催　蕉風會

京日案內
普通（一回前金三十錢割引）（一回一回毎に金五錢増）
番外（一回前金六十錢割引）（一回一回毎に金十錢増）
▼申込は中途掲載中止の節は料金返戾せず

普通

◉店員入用　十七八歳位希望者來談あれ　本町 大阪屋號書店　55
◉新事務員　男女高等外交員を要す要保證人希望者午後八時履歷書携帶京城大和町一の四八朝鮮寫眞通信社　56
◉代診生及見習看護婦欠員あり志望者は本人來談あれ　仁川 佐藤病院　57
◉醫師　年三十二歳多年經驗あり病院會社鑛山に雇はれ渡し（姓名在社）49

番外

◉松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す　▲光州 加藤自働車運輸部
◉貸家　本町三丁目表通二間々口二階十五疊半勝手口六疊家賃二十七圓希望者は來店あれ　三ノ六 小林へ　46
◉御不用品なんでも高價に買ます御一報次第直に參上可仕候　太平通二丁目 金原田古物店　54
京春間自働車　道路復舊に付明十八日より從前の通り運轉す　水標橋通り　電話二一三八番　京春間自働車商會
◉獨占的有望多利の製造販賣業を居抜讓渡し度し　渡米の都合上京城樞要地に盛に營業中の得意共至急（姓名在社）52
◉京城春川間每日午前八時出發　京城春川間自働車賃金片道四圓　南大門通一丁目 廣橋自働車　電話二一九番　主務 金正淵　592

書名　著者　定價
◉獨乙の大銀行及金融　富岡久太郎　一、八〇
◉英吉利帝國　坂本健一　四五
◉電氣家用高等數學入門　大河內治　一、三〇
◉朝鮮鑛業要覽　朝鮮鑛業研究會　一、二〇
◉朝鮮と金鑛　町田長作　一、〇〇
◉諸官立學校入學試驗問題集　家田撰　一、七〇
◉實驗水泳教授法　中川亨　五五
◉強い身體を造る法　川合幸充　一、七〇
◉四十先布石攻合法　中川龜三郎　一、二〇
◉小野名人講評古今將棋手合　小野五平　八五
◉水沫集（縮刷）　森林太郎　一、五〇
◉手輕に出來る家庭西洋料理　櫻井ちか子　六五
◉日本神話國びらき　碧瑠璃園　七五
◉芭蕉書簡集　籾山仁三郎　五〇
◉俗曲文庫第一編長唄集　五五
◉子規句集講義　內藤、高濱　九〇
◉改版南歐の日　有島生馬　一、〇〇
◉日本一周（後編）　田山花袋　一、二〇
◉法華利生執念の蛇　青木　五〇
◉大正五年度職員錄甲乙　一、〇〇
◉朝鮮官吏受驗者必携法律問答　附朝鮮行政法規要　四〇
◉詩傳乃木大將　兒玉花外　八〇
大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六

新刊書御案內

進物用牛乳切手有　消毒牛乳　新鮮鷄卵配達　藤富牧場　電話一一九一三番

新著拜呈よりで州分

強胃消化錠　マーゲン　着しく胃を爽快にする　島田藥學博士鑑查
特約店　京城南大門通二　新井藥房

正氣堂名刺舖　京城本町二　明日正確送料無料　電話二一九五番　振替京城一二八三番

鳴屋特製　みやま味噌
製造販賣元　鳴屋本店　電話二三三〇番

女鳩

渡邊默禪

「七八」生死不明

やつとの思で目的地の地獄谷に到着早々、一行の中樞神經ともなるべき源作の姿を見失つたことは、糧食隊の消息を絶つたよりも於上に、大河野子爵に絶大の苦痛を與へた出來事であつた。

とにかく風雪を凌ぐだけの據を拵へることが差向き必要なことだつたので大野は人夫を督して大急ぎに小屋掛に著手した。位置は大屋川に臨んだ崖下で、崖を自然の壁に利用して丸太を組み、莚と蔽とで全體をつゝんだ。シャベルで雪を掘るもの、鶴嘴で岩を碎くもの、薪火を燃すもの、柱を繩で括しつけるもの、一時に囂然たる物音が起つた。何しろ二十何人の手で一氣呵成に築き上げるのであるから、無雜作に三棟の小舍が出來揚つた。

其中のが子爵父子と大野勇とが起臥する御本丸で、左右兩翼のが三十餘名の人夫を收容するいはゆる御陣屋といふ形。歴のかはりに薬を厚くかさねてその上に蓆を敷いたゞけ、出入口には蓆一枚をかけて扉の代用にした。それから中央に石をたゝんで爐のやうなものを拵へ、焚火の煙を抜く爲めに天井へ引窓樣の穴を穿けて、手を伸しさへすれば開閉の出來るやうに蓋を結びつけた。後は岩壁、左右には一丈からの雪が積んであるので入つて見ると意外に暖かであつた。子爵は原始時代に立かへつたやうだと笑ひながら、その中へ潜り込んで、爪先の凍を温ばるゝ穴居の人になつた。

外はまだ吹雪が歇まなかつた。試しに小屋の外へ手を出して見るとばらばらと打つける粉雪が、砂の如く掌の上に跳つた。

いづれもひどく空腹を感じて來た身體と疲憊とで小屋に入つたきり、身動きのできないやうな人もあつた。でも源作の方をそのまゝ打捨てゝ置く譯にもいかないので、子爵と大野とがいろいろに勵し立て、二十人のうちから八九名だけの壯丁を撰拔して搜索に向ふことにした。子爵も一緒に行かうと言出したのを、大野は危險だからと無理に止めて、自分が指揮することにした。

南米倉町朝市場通仁濟病院跡 內科外科 花柳病 入院隨意 上野醫院 電話二九三四番

搜索隊が出發したのは、九時近い頃であつた、それが一時間と經たぬうちに空しく引返して來た。

「駄目ぢやつたか！」

小屋の外へ出て一同を迎ねた子爵は、その中に源作の影が交つてゐないのを見ると、先づ絕望の聲を投げた。サンダークロースのやうに滿身眞白になつた大野は群を拔けて來て

「駄目です、發見りません」

やけになつたらしい返辭をして、手拭でマントの頭巾についた雪を拂ひ落しながら

「前に通つて來た路筋を約一里ばかり探して見ましたが、更に手懸がないです。第二の方法としては谷底に下つて搜すんですが、何しろ此の通りの吹雪ですし、まごまごすると生埋にされつちまうといふて、皆なが拒むもんですから、是非なく引返して來ました、仕方がありませんから夜明を待つて再搜索をやつて見ませう。いや實に殘念です」

「左樣か、是非ないことぢやの。皆さん御苦勞でした。さ、小屋に入つてゆつくり休息なさい」

子爵は感傷的な語氣で更に

「嗚、空腹ぢやらうが、一方の糧食隊は今以て音沙汰がない。大方この吹雪で途中に滯つて居ることぢやらう。これも心配で堪らんし、皆さんに對してもお氣の毒でならん。畢竟といふのも凡て私の不注意不行屆から出たことぢやで、お詫をせんけりやならん。どうぞ私に免じて今晚のところは我慢をして下さい。この詫罪の方法はいづれ何とか爲るであらうから」

と詫びた。一同はへとへとになつた體を小屋の中にはこんだが、最う口を聞く力さへなかつた。

この夜、不思議なことがあつた。

▲新古書籍雜誌販賣 ▲古本高價買受 ◎京城本町一丁目 松井松榮堂書店 ◎電一三七八▼

西洋料理アイスクリム、ハイカラ丼 おいしい御料理第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

□俳諧散心句抄(第一回)

立秋の日より數日をトし四五相寄り俳三昧に耽る、得るところ五百句

殘暑

岩を攀ぢて草鞋重たき殘暑哉　虛中子
秋暑し稼げど樂を見得ぬ母　たかし
油切れし水車空鳴る秋暑し　移果
納家の壁に豊茶干す日ゃ秋暑し　壺洞
伐木を谷に落すや秋暑し　同
威電の死人舁ぎ去る秋暑し　田打夫

鳳仙花

坦壞れて門のみの家や鳳仙花　虛中子
割れ甑で土塀覆ふや鳳仙花　たかし
餘命なきに何鵝飛ぶ鳳仙花　移果
牛乳缺ふ長病人や鳳仙花　壺洞
齲齒の閻の門の鳳仙花　田打夫

蜩

蜩や崖の壞れを草跡ら　虛中子
蜩や病馬いたはる厩の屏　たかし
蜩や農期近きに逝く主人　移果
蜩や裸で鉢に水遣る兒　壺洞
蜩や蜍の影踏む畑の道　田打天
蜩や蹄省に慣れて部門懸ふ　同

新刊紹介

▲花合せの遊び方(附八々必勝法)　波瀾重疊手夢萬化の興味ある花合の遊び方を二十一章に分ち其の起源より規則、相習、遊戯等を平明に解説せり(二十五錢東京市神田區表神保町中興館)

▲朝鮮諸官廳受驗者心得(附話譯文速成)(京城尋常學校教官安往大吉著)　[illegible]

▲新式圍碁寶典(第三)(鈴木五段著)　[illegible]

▲流行(八月號)十五錢東京市日本橋區通一丁目日本服裝研究所

▲紙の世界(八月號)五錢東京市小石川區西原町二ノ一一社

▲朝鮮農會報(八月號)　[illegible]

▲消防新誌　[illegible]

▲發明化學工業界(創刊號)　[illegible]

▲幼年畫報　[illegible]

▲滋養經濟讀本(はとむぎ)　利用法…小川安村著　[illegible]　二十錢東京市京橋區南傳馬町二有隣堂)

▲鐘路通りから朝鮮人町の裏小路を通つて行くと鼻向きもならぬ程臭い所に小溝に停滯してゐる汚水はかりで通行が出來ぬ程だ何とか仕方はないものか(雜貨屋小僧)▲自分の事は棚に上げて置いて他人の惡口ばかり吹聽して歩く現代的女房の發展には主人たる者聊か反省しないと一本の筋が泣きますぞ(天保命)▲家庭の趣味として花卉栽培を推奨してゐた人もあつたが僕は家庭の團欒として音樂吹奏を以て唯一の伴侶としてゐる(音樂詩人)▲吉野町の某社宅の建物は雨が降れば床の下は大水、天氣になれば非常な臭氣衛生上甚だ害あり病人も絕ゆる時なし而も地代家賃は普通より高い何とか考へて貰ひたい(借家總代)▲藝妓酌婦藝妓置屋營業取締の御規則が出來ましてから三月にもなりますのに貸借計算簿と云ふものを渡して呉れぬ置屋があります早く渡して下さるよう御取計ひを願ひたい私共から主人に請求しても中々聞いて呉れませぬ私共ほど驕い稼業はありませぬどうぞ御同情下されまして早く渡して呉れるよう御助けを願ひます(京城藝妓總代)

夏季
下痢と腹痛にはヘルプが一番よい

腹具合の悪い時には先づ柏村博士創製の「ヘルプ」を試みよ

「の下痢病は腐敗菌の害多し故に止瀉藥は醫學上殺菌力を有する藥劑ならざる可す……柏村博士のヘルプは此點を考慮し調和せし者にて從來の賣藥になき消化殺菌、防腐の作用を完備す故に

下痢、腹痛は直ぐ治り、腸胃は健全に復す！

▲ヘルプ主効▼
▲下痢 ▲腸カタル ▲胃カタル ▲腹痛 ▲食傷 ▲吐瀉 ▲呑飲あたり ▲水あたり ▲頭下痢 ▲消腹其他一切腹具合の悪き時に用ひて妙

定價　[illegible]

津村敬天堂

最上醬油

絕對的品質本位
鮮滿釀造界唯一の名譽
於始政五年朝鮮物產共進會
金牌受領
特許機械製
ほまれ味噌
釀造元仁川港
日本醬油株式會社
電話七一五一番振替京城一七四番
京城出張所
電話二四五五番振替京城五二三番

淋病新藥ツヨール
醫學藥學博士臨床實驗書無料贈呈
百入壹圓五拾錢
五〇入八拾五錢
三〇入五拾五錢
東京ツヨール本舖
關西代理店大阪道修町田邊五兵衛

山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八八〇番
內科 呼吸器病專門
小兒科 胃腸病
花柳病
眼科
(入院隨時) 山田萬作 尾形周太郎

新荷著 スイス製 懷中時計
機械堅牢なる針正確無比優美にして價格の低廉なる事天下無比

十七形 ニッケル(兩蓋) 四圓五十錢
同 ラクユール目醒 四圓五十錢
同 … 十一圓
十九形 メッキ彫刻(兩蓋)
二十八形 金張(十年保證)
同 …
十二形 ニッケル側
アメリカ製十四金ペン付
有は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの故是非御注文に預り度し地方の御注文には代金引換にて御用命に應ず

時計、蓄音機、ミシン、機械、自轉車、洋酒、各國莨直輸入商
イングレツシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

金泉龍泉間自動車時間
金泉龍泉間 上り 一番 二番 下り 一番 二番
[illegible]

金泉織居自動車支部
金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間
上り 浦項發 … 大邱着
下り 大邱發 … 浦項着
[illegible]

大塚農場自動車部
大邱出張所
電話一一七番

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 … 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦潮行 … 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦潮行 … 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 小倉丸 月 日後六時出帆
○元山、第三琴平丸 …
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天要丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埠頭本船取扱所 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第一共同丸 八月十六日後四時入 八月十八日前九時出
朝鮮鐵道主要驛にて青島行定期船接續旅客并に手荷物取扱仕候
○城津、清津、浦潮行(元山出帆) 第一阪鶴丸
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
本町一丁目 電話一〇八番 阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城南大門通 河村運送店

大阪商船仁川出帆
外航所屬航路は遠洋航路を除く外の經路聯絡乘船の時は五分引を以て聯絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 須磨丸 八月廿六日
安東丸 九月三日
天智丸 八月廿九日 後五時出
○鎮南浦、龍岩浦、安東縣行 淳州丸 八月廿六日 後二時出
×木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行
信濃川丸 八月廿七日
信濃川丸 九月十四日 後二時出
×木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 安東丸 八月廿二日 後二時出
○鎮南浦、大連行 信濃川丸 八月廿二日 後二時出
○大連直行 日米丸 八月廿五日 正午出帆
福州丸 九月四日
○群山、釜山、横濱行 福州丸 八月十八日 後二時出
潮州丸
○清津、浦潮行(元山出帆) 印度丸、城津丸
安平丸 八月廿七日 後二時出
宮島丸 九月二日
○上海、芝罘、打狗行(大連出帆) 城津丸 九月一日 後六時出
基隆丸 八月廿二日 前四時出
御注意 朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 △印は貨物のみ取扱 ×印は一等船客を取扱はず
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店

朝鮮郵船出帆
本社 京城南大門通 電話長一九五 …
○全羅丸 八月二十一日
○京畿丸 八月二十四日
○黃海丸 九月三日
○咸鏡丸 … 釜山發
門司より釜山各港經由基隆行
○慶尚丸 八月十九日
○昌平丸 八月廿五日
○平安丸 … 元山發
○忠清丸 八月卅日
○平壤丸 … 元山發
○永興丸 毎月廿八日 元山發
北久原、五里浦行
○全羅丸 八月廿二日 釜山發
○江陵丸 毎日 釜山發
○咸陽丸
○三浦丸 八月廿三日 釜山發
○海州丸、筑紫丸 毎日 釜山發
○順天丸 三日目每に 木浦發
○慶興丸 八月廿五日 木浦發
○慶興丸 八月廿三日 木浦發
○公州丸 八月十九日 木浦發
○宗信丸 八月廿二日 仁川發
○江原丸 八月廿六日 仁川發
○麗水丸、晋州丸 八月廿一日、八月廿五日 仁川發
○錦江丸、南陽丸 毎日午前 仁川發

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
君か代丸 八月廿三日後四時出帆
大有丸 八月廿七日後五時出帆
神代丸 八月廿七日後四時出帆
秀吉丸 八月廿八日後四時出帆
仁川代理店 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 八月十七日 後入時出
高砂丸 八月廿七日 正午出帆
三河丸
仁川代理店 堀回漕部